

シラバス 2025

1 学年

授業科目

基礎分野

授業科目名	行動科学								
担当者	金武 育子								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)心理学のさまざまなトピック、主要な研究、先駆的研究者、重要な理論などを幅広く取り上げ、心理学においてこれまでに蓄積されてきたものと、現在の研究、今後の方向性を話題にすることで、人間の行動についての心理学的・科学的な知見を提供する。集団や社会の理解、とりわけ各個人の自己理解のきっかけとなり、助けとなることを目的とする。 (到達目標)・人間の行動について心理学的・科学的に理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	心理学の歴史 精神分析・行動主義・人間性主義					講義	金武 育子		
2	知覚・錯覚					講義	金武 育子		
3	記憶 アクティビティ					講義	金武 育子		
4	脳と心 アクティビティ					講義	金武 育子		
5	パーソナリティー1 文章完成法 外向VS内向					講義	金武 育子		
6	パーソナリティー2					講義	金武 育子		
7	パーソナリティー・心理学テスト・家族図・友人図・バウム・エゴグラム					講義	金武 育子		
8	エゴグラムの解説					講義	金武 育子		
9	印象形成					講義	金武 育子		
10	学習、動機づけ・言語(思考)					演習	金武 育子		
11	動機づけ、思考 Q1 今一番学びたいこと					演習	金武 育子		
12	言語 印象形成					講義	金武 育子		
13	思考力					講義	金武 育子		
14	まとめ(心の成長) 人を伸ばす力(憧れ)					講義	金武 育子		
15	女性の活躍					講義	金武 育子		
■期末試験(100)% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% □発表()% □その他() ()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
『ダイアグラム心理学』			石田潤也			北大路書房			
参考書									
書名			著者			出版社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
心理学は、人間心理を科学的に捉えようと試みてきた学問です。科学的な視点をもって人間心理を理解することを楽しんでください。行動科学の知見が、他者理解・自己理解につながるよう、常に日常生活の中での出来事と照らし合わせて理解するよう努めましょう。									

授業科目名	哲学								
担当者	赤井 清								
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	10	時間数	20	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要) 哲学の基礎概念を理解し、自然と人間の生命の尊厳について学ぶ。 現象学をケアの現象学に繋げて学ぶ。									
(到達目標) 哲学の基礎概念を理解できる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 見えないのに、見えている？ 第2節知覚の本性 第2章―第1節					講義	赤井 清		
2	2. 見えるのに、見えていない？ 盲目否認の場合 第2章―2節					講義	赤井 清		
3	3. どんな現象から出発したらいいの？ 第3章3節					講義	赤井 清		
4	4. 眼が動いていないと三角形が見えない？ 第2章―4章					講義	赤井 清		
5	5. 見誤りと錯覚 第2章―5節					講義	赤井 清		
6	6. 三角形には形がない？ 第2章―6節					講義	赤井 清		
7	7. 瞬間の悪夢 第3章―1節、第3章 意識・思考・自由					講義	赤井 清		
8	8. いくつかの思考の「流れ」と創造 第3章―2節					講義	赤井 清		
9	9. 自由に、そして、もっと適切に行動するには 第3章―3節					講義・演習	赤井 清		
10	試験・解説					講義	赤井 清		
■期末試験 (100) % □提出物 () % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
哲学に御用心 認識の謎を探る		中村光世			ナカニシヤ出版				
参考書									
書名		著者			出版社				
医療ケアを問い直す―患者をトータルにみることの現象学―		榊原哲也			ちくま書房				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	情報科学								
担 当 者	伊藤 義則/ 我如古 豊/ 久島 昌弘/ 高良 勝俊/ 専任教員/ 非常勤講師								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護は、情報なしでは成り立たない。電子カルテなどを中心とする情報の電子化、ネットワーク化の急速な普及とともに、看護が取り扱う情報は膨大になってきている。情報に関する基本的な操作から、情報倫理、どんな情報をどうやって入手し、それを日々の看護にどのように活用していくかを学んでいく。									
(到 達 目 標)情報に関する基本的な操作から、情報倫理、情報の入手と活用についてわかる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	情報の定義と特徴 情報化社会					講義	我如古 豊		
2	保健医療と情報 看護と情報					講義	我如古 豊		
3	医療における情報システム					講義	我如古 豊		
4	情報倫理と医療倫理					講義	伊藤 義則		
5	患者の権利と情報					講義	伊藤 義則		
6	個人情報保護					講義	久島 昌弘		
7	コンピュータリテラシーとセキュリティ					講義	久島 昌弘		
8	既存の情報の収集方法					講義	久島 昌弘		
9	調査によるデータ収集方法					講義	久島 昌弘		
10	Excelによる統計解析①					講義	久島 昌弘		
11	Excelによる統計解析②					演習	久島 昌弘		
12	文字情報の整理					講義	久島 昌弘		
13	情報の発表とプレゼンテーション①					演習	久島 昌弘		
14	情報の発表とプレゼンテーション②					発表	久島 昌弘		
15	情報の発表とプレゼンテーション③					発表	久島 昌弘		
☐ 期末試験 () % ☒ 提出物 (50) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☒ 発 表 (50) % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座 別巻 看護情報学			中山和弘編著			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名 論理学							
担 当 者 道田 泰司							
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30
単 位 数 1							
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)筋道を立てて、物事を考える方法を学び、看護の思考(看護過程)の基盤とする。							
(到 達 目 標)・思考の整理をする方法が分かる。 ・論理的で、わかりやすい文章を書く基本がわかる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講師より授業資料を配布							
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者
1	看護学生に求められる「考える力」					講義	道田 泰司
2	ロジカル・ライティング					講義	道田 泰司
3	ロジカル・ライティングで200字文章を書く					講義	道田 泰司
4	実習をロジカルライティングで振り返る(①前)					講義	道田 泰司
5	複雑な議論の明確化(CT①)					講義	道田 泰司
6	ロジカル・ライティングで200字文章を書く(2)					講義	道田 泰司
7	議論明確化の確認・活用					講義	道田 泰司
8	隠れた前提をイメージする(CT3)					講義	道田 泰司
9	隠れた前提・言葉を言語化する(CT4)					講義	道田 泰司
10	隠れた前提を読み解く(CT5)					講義	道田 泰司
11	ロジカルライティングで200字文章を書く(3前)					講義	道田 泰司
12	ロジカルライティングで200～300字文章を書く(3後)					講義	道田 泰司
13	ロジカルライティングを通した成表					講義	道田 泰司
14	クリティカルシンキング・まとめ					講義	道田 泰司
15	論理的思考・まとめ					講義	道田 泰司
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (提出物/出席等) (100) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社			
「型」で身につける学びの土台 クリティカルシンキングロジカルライティング				ベネッセ			
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
筋道を立てて物事を考える力は、自分の考えを伝える、意見を述べる、レポートや論文を書くうえで欠かせない。それらは患者へ安全な看護を提供することに繋がる。							

授業科目名 倫理学									
担 当 者 金城 隆展/ 専任教員/ 津嘉山 みどり									
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護職としての人間性と倫理観を育むことを目指し、看護職としての責務や役割を中心に捉えながら、看護実践における倫理的側面を認識するとともに倫理的に考察するための基礎的な知識・概念を学ぶ。									
(到 達 目 標)・倫理学とは何かについて理解できる ・現代に特有の倫理的なテーマについて理解を深める。 ・実践の場で発揮できる倫理的な判断力を深める。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
講師より授業資料を配布									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	臨床倫理-1					講義	金城 隆展		
2	臨床倫理-2					講義	金城 隆展		
3	倫理の概念					講義	津嘉山 みどり		
4	看護倫理に関わる重要概念:アドボカシー、協働、アカウンタビリティ					講義	津嘉山 みどり		
5	看護倫理に関わる重要概念:看護職の倫理綱領、倫理と法、看護職の責務					講義	津嘉山 みどり		
6	看護倫理に関わる重要概念:インフォームドコンセント、パターナリズム、QOL,プライバシー					講義・演習	津嘉山 みどり		
7	看護倫理のアプローチ:徳の倫理、ケアの倫理					講義・演習	津嘉山 みどり		
8	看護倫理のアプローチ:倫理原則、倫理的意思決定のプロセス					講義・演習	津嘉山 みどり		
9	看護倫理のアプローチ:倫理的ジレンマと臨床実践における倫理的問題への対応					講義・演習	津嘉山 みどり		
10	倫理的問題へのアプローチ 身体拘束-1					演習	津嘉山 みどり		
11	倫理的問題へのアプローチ 身体拘束-2					演習	津嘉山 みどり		
12	倫理的問題へのアプローチ インフォームド・コンセント プライバシーの保護					演習	津嘉山 みどり		
13	倫理的問題へのアプローチ インフォームド・コンセント プライバシーの保護					演習	津嘉山 みどり		
14	倫理的問題へのアプローチ インフォームド・コンセント プライバシーの保護					演習	津嘉山 みどり		
15	試験・解説					講義	金城 隆展/ 津嘉山 みどり		
■期末試験 (100) % □提出物 () % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発 表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
別巻 看護倫理		宮坂道夫			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	人間関係論								
担 当 者	金城 真知子/ 金武 育子								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)人間関係成立の基本を理解し、人間関係発展のための自己及び他者理解などを通して、カウンセリング理論と技を学ぶ。									
(到達目標)・社会人としても人と接するときの具体的な表現を身につける ・円滑な人間関係成立のための実感を理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
人間関係成立の実際には、知識を問うより日常的な言動の指導が必要で大切です。気づきこそ行動変容の要として、何をこの授業で学んだかを①により評価します。① 授業で学んだことを感想として日誌にすることを課する。② 授業に臨む態度									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	人間関係とは 人間関係の課題とイメージ 課題:看護師になる理由・自己紹介					講義	金武 育子		
2	発達段階・発達課題と重要な他者との関係(0～6歳)乳児期・幼児前/後期 シェア→話し合う→エリクソン&ピアジェ					講義	金武 育子		
3	発達段階・発達課題と重要な他者との関係(6～19歳)学童期・青年期・成人期					講義	金武 育子		
4	人間関係の理解 親子・家族関係 私→世界/PTSD・家族・家庭					講義	金武 育子		
5	人間関係の理解 恋愛関係 恋愛への関心→on-line 親子					講義	金武 育子		
6	人間関係の理解 友人関係 3つの心理テスト(恋人)					演習	金武 育子		
7	人間関係の理解 職場の人間関係 友人とは?私の友人					講義	金武 育子		
8	各段階・各場面での困難 友人シェア					講義	金武 育子		
9	発達障がい理解 誕生～幼児					講義	金武 育子		
10	バースデーチェーン(ノンバーバルコミュニケーション) ワークショップ(距離・視線)					講義	金武 育子		
11	スローグ エゴグラム					講義	金武 育子		
12	よりよい人間関係とは					講義	金武 育子		
13	社会人として、あらゆる場面でのマナー・エチケットについて *お辞儀の仕方・姿勢作り 身だしなみ、態度と表情					講義	金城 真知子		
14	ことばづかいのマナー * コミュニケーションにより、自分自身が正しく評価される表現の必要性和重要性を学ぶ * 演習丁寧なことばに言い換えるレッスン自宅学習で敬語の基本が実際場面でのように表現されるかを確認する					演習	金城 真知子		
15	試験・解説					講義	金武 育子		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
なし									
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
医療接遇とコミュニケーション									
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
各単元で、講義資料配布します。人間関係論では、参考資料紹介します。									

授業科目名		社会学							
担当者		金澤 美和/ 専任教員							
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	10	時間数	20	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)現代社会における様々な課題を社会学的な視点から検証し、社会の一員として「より良い社会とはどのような社会なのか」ということを考察します。									
(到達目標)日常生活において「常識」・「当たり前」ととらえられている現象を、社会学的視点で見つめなおすことで、社会問題を察知するアンテナの感度を高めることを目指します。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
講義で取り上げる内容をご自身の日常生活に引き寄せて考える視点を意識してください。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	家族①					講義	金澤 美和		
2	家族②					講義	金澤 美和		
3	アイデンティティ					講義	金澤 美和		
4	ジェンダー					講義	金澤 美和		
5	高齢					講義	金澤 美和		
6	障がい					講義	金澤 美和		
7	貧困					講義	金澤 美和		
8	就労					講義	金澤 美和		
9	社会学とは					講義	金澤 美和		
10	試験・解説					講義	専任教員		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
なし									
参考書									
書名		著者			出版社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									
社会学的に社会を見る視点を得て、複雑な社会を生き抜こう！									

授業科目名	人間の生活と文化								
担 当 者	久場 英/ 金澤 美和/ 専任教員								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)多様化や流動化、個人化が進む現代社会において、地域住民と協働して健康の回復・維持できるようにするには、どのように社会を理解していったらいいのだろうか。人類史的・歴史的に人間の生活と文化を理解し、私たちの生活と文化を理解していく。特にドラスティックな社会変動をしてきた沖縄の地域・文化を複眼的に創造的に捉えていく。 (到 達 目 標)医療従事者としての視野を広げ、問題を抱えた対象者に接する際、その人が生きてきた生活と文化を考慮して言葉かけができるようになる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
教室は公共性をもっているということを目覚めて受講して下さい。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	沖縄の若者文化					講義	金澤 美和		
2	沖縄という地域を知る/統計資料と社会調査					講義	金澤 美和		
3	沖縄と衣服					講義	金澤 美和		
4	沖縄の地域福祉					講義	金澤 美和		
5	沖縄の文化/空手					講義	金澤 美和		
6	沖縄の児童福祉					講義	金澤 美和		
7	沖縄の食文化					講義	金澤 美和		
8	沖縄の住まい/居住支援					講義	金澤 美和		
9	沖縄から高齢者を考える					講義	金澤 美和		
10	沖縄からジェンダーを考える					講義	金澤 美和		
11	沖縄の地理的構造と歴史の特徴					講義	久場 英		
12	沖縄の民衆の生活① 沖縄語(しまくとぅば)の特徴					講義	久場 英		
13	沖縄の民衆の生活② 琉球舞踊と御座楽					講義	久場 英		
14	沖縄の民衆の生活③ 風水に基づく建築文化 祖先崇拝と墓文化					講義	久場 英		
15	試験・解説					試験	専任教員		
■期末試験（60）％ ■提出物（20）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ ■発 表（20）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
なし									
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
なし									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									
当たり前になっている人間の生活と文化が、学ぶことで生き生きとして見えてきます。									

授業科目名		英語							
担当者		宇座 玲子							
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	10	時間数	20	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)看護場面で使う基本的な看護英会話と医療専門英語を習得し、看護活動や実践の場で活かせる英語を身につける。また、グローバル化する医療・看護における英語の果たす役割や重要性を理解する。									
(到達目標)1. 看護活動に必要なコミュニケーションを患者ととることができる。 2. 英語で患者情報を収集し、問診・病歴聴取ができる。 3. 多様性・異文化理解を深める上での英語の果たす役割を知る。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
音読やペア・ワークはしっかり声をだしておこなうこと。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	初診時の英会話、個人情報収集					講義	宇座 玲子		
2	症状の訴え方、病院案内					講義	宇座 玲子		
3	痛みの訴え、人体名称					講義	宇座 玲子		
4	問診の取り方					講義	宇座 玲子		
5	病歴聴取・疾患名					講義	宇座 玲子		
6	服薬指導					講義	宇座 玲子		
7	検査と手術の説明					講義	宇座 玲子		
8	バイタル測定					演習	宇座 玲子		
9	異文化理解:医療・看護分野における異文化理解					演習	宇座 玲子		
10	試験・解説					講義	宇座 玲子		
☒ 期末試験 (70) % ☒ 提出物 (15) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (活動状況) (15) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
クリスティーンのやさしい看護英会話		知念クリスティーン 上瀧真紀恵			医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
テキストの他に必要な資料を事前に配布・送付するので目を通しておいて下さい。また、看護師と患者のペア・ワークを毎回行うので積極的に参加することを望みます。臨床の場では英語や英語が元の略語が多く飛び交います。それを意識して楽しく学んでいきましょう。									

授業科目名	健康科学								
担 当 者	久場 勝子/ 宮城 政也/ 専任教員								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 実技を通して心身のリフレッシュと身体の発達を図り、人の関わりを大切にするコミュニケーションワークを学ぶ。 運動(身体活動)、スポーツの功罪、健康行動理論について熟考し、看護学生としてのアクティブライフスタイルの形成を目指す。									
(到 達 目 標) 実技を通して心身のリフレッシュと身体の発達を図り、コミュニケーションワークを身につける。 看護学生としてのアクティブライフスタイルの形成を目指す。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	人との関わりを大切にするコミュニケーション ワークⅠ 楽しさの重要性、自己の気づき、自己表現を法を学ぶ 現場風景					講義	久場 勝子		
2	地域・福祉施設における健康体操・介護予防プログラム					実技・講義	久場 勝子		
3	コミュニケーション・ゲーム 新聞リハビリゲーム 楽しいレク、ダンス(講義) レク支援の定義(講義)					実技・講義	久場 勝子		
4	遊びリレーション・ゲームⅠ 遊びの要素、効用、効果について学ぶ 音楽の力について ①集団援助 ②個別援助(手話ソング)					実技・講義	久場 勝子		
5	カラーワーク(色とコミュニケーション)					講義	久場 勝子		
6	グループワーク(自己への気づき)ゲーム(喪失体験) コミュニケーションワーク(自分を大切にする)(手話ソング)					GW	久場 勝子		
7	要支援高齢者でも楽しめる表現活動 (実技) 自己表現(課題 ダンス&カチャーシー)グループ発表					実技	久場 勝子		
8	ヘルスプロモーションの理解とヘルスリテラシー					講義	宮城 政也		
9	セルフケア能力、メンタルヘルスの理解とマインドセット					講義	宮城 政也		
10	エビデンスに基づく身体活動の心理社会的恩恵					講義	宮城 政也		
11	リラクゼーション演習①「ストレッチングと自律神経」					実技	宮城 政也		
12	リラクゼーション演習②「エアロビクスエクササイズと自律神経」					実技	宮城 政也		
13	簡単なレジスタンスエクササイズ					実技	宮城 政也		
14	健康教育、健康行動理論の基礎					講義	宮城 政也		
15	試験・解説					講義	久場 勝子/ 宮城 政也		
☒ 期末試験 (50) % ☒ 提出物 (20) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☒ 発 表 (20) % ☒ その他 (積極的参加) (10) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
なし									
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
自分自身の心と身体を見つめ、状態を整えながら人間関係を創り上げていくことは、看護の対象者との関係形成に繋がるものである。 スポーツに親しみ、より健康で豊かなライフスタイルを形成することは、看護の対象である患者の生活にも目を向け、共に考えていく事ができる。									

授業科目名		人間と環境							
担当者		伊藤 義則/ 西平 淳子							
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要) 人間を取り巻く自然及び社会・文化的な環境を学ぶ。 衣食住などの生活環境が人の健康や日常生活に及ぼす影響を及ぼすのかを学ぶ。									
(到達目標) 環境とは人間と相互に影響しあい変化するものであることを理解する									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
テキストは講義資料配布 参考文献は随時紹介します。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	地理的・歴史的・文化的特徴から見た沖縄の生活ー1					講義	伊藤 義則		
2	地理的・歴史的・文化的特徴から見た沖縄の生活ー2					講義	伊藤 義則		
3	子どもの成長・発達を促す安全で快適な環境					講義	西平 淳子		
4	高齢者の自立した生活を助ける安全で快適な環境					講義	西平 淳子		
5	環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響ー1					講義・演習	西平 淳子		
6	環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響ー2					講義・演習	西平 淳子		
7	ヘルスプロモーションー1					講義・演習	西平 淳子		
8	天気と沖縄の暮らし					講義	伊藤 義則		
9	ヘルスプロモーションー2					講義・演習	西平 淳子		
10	音環境・光環境・熱環境・空気環境などが人体に及ぼす影響					講義	伊藤 義則		
11	外部環境の変化が、生体機能に及ぼす短期的および長期的な影響					講義	伊藤 義則		
12	人体の環境と熱交換に及ぼす被服の影響					講義	伊藤 義則		
13	食環境					講義	伊藤 義則		
14	住環境					講義	伊藤 義則		
15	試験・解説					講義	伊藤 義則/ 西平 淳子		
■期末試験 (100) % □提出物 () % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
なし									
参考書									
書名		著者			出版社				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	人間発達学								
担当者	遠藤 由美子/ 専任教員								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要) 身体・心理・社会的側面存在としての人間を発達という観点から全体として理解する。									
(到達目標) 人間の発達段階を理解し、生活する人の全体像を考えることができる。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	人間と発達1					講義	遠藤 由美子		
2	発達理論とその展示的展開1					講義	遠藤 由美子		
3	発達理論とその歴史的展開2					講義	遠藤 由美子		
4	胎児期の心と身体					講義	遠藤 由美子		
5	乳幼児期の心と身体1					講義	遠藤 由美子		
6	乳幼児期の心と身体2					講義	遠藤 由美子		
7	学童期の心と身体1、2 乳幼児期の心と体2					講義	遠藤 由美子		
8	学童期の心と身体2 思春期の心と体1					講義	遠藤 由美子		
9	思春期の心と身体1 思春期の心と身体2					講義	遠藤 由美子		
10	青年期の心と身体					講義	遠藤 由美子		
11	成人期の心と身体1					講義	遠藤 由美子		
12	成人期の心と身体2					講義	遠藤 由美子		
13	老年期の心と身体1					講義	遠藤 由美子		
14	老年期の心と身体2 これまでのまとめ					講義	遠藤 由美子		
15	試験・解説					講義	遠藤 由美子		
■期末試験 (100) % □提出物 () % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
看護のための人間発達学 第5版					医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
国民衛生の動向									
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
人間の発達には、個人によって異なる発達の側面と、各人すべてに共通の側面があることを理解することにより、統合体としての人間の変化過程と看護実践につながる。									

專門基礎分野

授業科目名	形態機能学総論								
担当者	伊藤 義則/ 久高 将臣								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)人体を構成する基本的な要素、および人体の恒常性を維持する基本的な要素の構造について学ぶ。									
(到達目標)人体を構成する基本的な要素、および人体の恒常性を維持する基本的な要素の構造を理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	形態機能学をどのように学んでほしいか					講義	伊藤 義則		
2	生命を維持するしくみ・その1 消化器・呼吸器					講義	伊藤 義則		
3	生命を維持するしくみ・その2 循環器・腎					講義	伊藤 義則		
4	感覚と運動のしくみ 骨・筋肉・神経					講義	伊藤 義則		
5	体内の環境を維持するしくみ 内分泌・自律神経					講義	伊藤 義則		
6	体内の環境を守るしくみ 血液・免疫					講義	久高 将臣		
7	細胞のなりたち、電解質、酸とアルカリ					講義	久高 将臣		
8	生きているとはどういうことか・代謝					講義	久高 将臣		
9	細胞と組織					講義	久高 将臣		
10	内部環境の恒常性					講義	久高 将臣		
11	恒常性を維持するための物質の流通①					講義	久高 将臣		
12	恒常性を維持するための物質の流通②					講義	久高 将臣		
13	恒常性を維持するための物質の流通③					講義	久高 将臣		
14	試験・観察					講義	久高 将臣		
15	外部環境とからだ					講義	久高 将臣		
☒ 期末試験 (60) % ☐ 提出物 () % ☒ 小テスト (40) % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ		菱沼典子			日本看護協会出版会				
解剖生理学		坂井建雄			医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
トートラ 人体の構造と機能 第5版		ジェラルド・J・トートラ			丸善				
人体の正常構造と機能 第4版		坂井建雄			日本医事新報社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名		形態機能学Ⅰ							
担 当 者		内間 幸人/ 嶺井 良恵/ 伊藤 義則							
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 恒常性維持のための神経系と内分泌系による調節機構、生体の防御機構を学ぶ。									
(到 達 目 標) 恒常性維持のための神経系と内分泌系による調節機構、生体の防御機構を理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	神経系の構造と機能					講義	嶺井 良恵		
2	脊髄と脳①					講義	嶺井 良恵		
3	脊髄と脳②					講義	嶺井 良恵		
4	脊髄神経と脳神経					講義	嶺井 良恵		
5	自律神経の機能					講義	嶺井 良恵		
6	感覚機能・体性感覚・特殊感覚(眼・耳・内耳・舌・鼻)					講義	嶺井 良恵		
7	脳の統合機能					講義	嶺井 良恵		
8	内分泌(ホルモン)の形態機能について					講義	内間 幸人		
9	内分泌系の作用機序、全身の内分泌腺、ホルモン分泌の調節					講義	内間 幸人		
10	視床下部、下垂体、甲状腺					講義	内間 幸人		
11	副甲状腺、腎臓、副腎					講義	内間 幸人		
12	非特異的生体防御機構(自然免疫系)					講義	内間 幸人		
13	特異的生体防御機構(獲得性免疫系)・その1					講義	内間 幸人		
14	特異的生体防御機構(獲得性免疫系)・その2					講義	内間 幸人		
15	試験・解説					講義	内間 幸人/ 嶺井 良恵		
■期末試験(100)% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% □発 表()% □その他()()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ		菱沼典子			日本看護協会出版会				
解剖生理学		坂井健雄ほか			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					丸善				
ぜんぶわかる 人体解剖図		坂井健雄、橋本尚詞			成美堂出版				
系統看護学講座 脳神経 成人看護学7 第16版		井出隆文			医学書院				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	形態機能学Ⅱ									
担当者	嘉陽 宗司/ 嶺井 良恵									
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)人間が、呼吸・活動・休息において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているかを学ぶ。 日常生活援助技術「活動・休息」と関連付けて学ぶ。										
(到達目標)人間が、呼吸・活動・休息において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているかを理解する。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	「息を吸う」「息を吐く」ための器官の名称と構造						講義	嘉陽 宗司		
2	「息をする」意義・呼吸運動の神経支配						講義	嘉陽 宗司		
3	気道の構造と機能 咳・たん・くしゃみがおこるしくみ						講義	嘉陽 宗司		
4	呼吸困難とチアノーゼ・外呼吸と内呼吸・ガス交換						講義	嘉陽 宗司		
5	スパイロメトリーとフローボリュームカーブ						講義	嘉陽 宗司		
6	日常生活行動「動く」 1)姿勢 (1)体位と構え (2)赤ちゃんが歩くまで (3)立位の保持						講義	嶺井 良恵		
7	日常生活行動「動く」 2)骨・関節の構造①						講義	嶺井 良恵		
8	日常生活行動「動く」 3)骨・関節の構造② 3回目ワークシート						講義	嶺井 良恵		
9	日常生活行動「動く」 4)意図的な運動・随意運動・骨格筋の構造と機能①						講義	嶺井 良恵		
10	日常生活行動「動く」 5)骨格筋の構造と機能② 5回目ワークシート						講義	嶺井 良恵		
11	日常生活行動「動く」 6)日常生活での基本的な動き (1)歩く (2)つまむ (3)表情						講義	嶺井 良恵		
12	日常生活行動「話す・聞く」 1)声を出す (1)大脳の言語野 (2)発声に関わる器官						講義	嶺井 良恵		
13	日常生活行動「入浴する」 1)垢を落とす 2)皮膚と付属物 (1)表皮・ケラチノサイト (2)汗腺・脂腺・毛 3)皮膚・粘膜の血管と神経 4)温まる						講義	嶺井 良恵		
14	日常生活行動「眠る」 1)からだのリズム (1)サーカディアンリズム (2)基礎的な「活動－休息」の周期 2)眠り (1)ノンレム睡眠・レム睡眠 (2)睡眠パターン						講義	嶺井 良恵		
15	試験・解説							伊藤 義則/ 嶺井 良恵		
■期末試験 (100) % □提出物 () % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者			出版社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ			菱沼典子			日本看護協会出版会				
病態・治療論【2】呼吸器疾患			石原栄樹、竹川幸恵(編集)			南江堂				
参考書										
書名			著者			出版社				
解剖生理学			坂井健雄他			医学書院				
ぜんぶわかる人体解剖図			坂井健雄、橋本尚詞			成美堂出版				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

授業科目名		形態機能学Ⅲ							
担当者		伊藤 義則/ 三浦 夕香/ 少貳 夕起子/ 大城 清貴/ 祝嶺 好輝							
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)人間は、排泄・食すること・再生産において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているかを学ぶ。 日常生活援助技術「排泄の援助」「食生活の援助」と関連付けて学ぶ。									
(到達目標)人間は、排泄・食すること・再生産において、からだをどのように使って日常生活行動を遂行しているかを理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者	
1	1)食欲 2)食行動						講義	大城 清貴	
2	3)咀嚼し味わう 4)飲み込む(嚥下)						講義	大城 清貴	
3	5)消化と吸収 ①消化管の構造と機能 ・胃の構造と機能 ・小腸の構造 ・小腸の機能 ・大腸の構造と機能						講義	大城 清貴	
4	5)消化と吸収 ①消化管の構造と機能 ・胃の構造と機能 ・小腸の構造 ・小腸の機能 ・大腸の構造と機能						講義	大城 清貴	
5	②消化管付属器官の構造と機能 ・膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能						講義	大城 清貴	
6	1) 排尿 (1)尿の生成 ①腎臓の構造と機能 ②尿生成のメカニズム:濾過・再吸収・分泌						講義	三浦 夕香	
7	(2)体液量調節の機構 ①レニン・アンギオテンシン・アルドステロン系 ②抗利尿ホルモン						講義	三浦 夕香	
8	2)尿意						講義	三浦 夕香	
9	3)排尿 ①排尿路の構造 ②尿の貯蔵と排尿						講義	三浦 夕香	
10	4)排便 ①便意 ②排便						講義	三浦 夕香	
11	女性生殖器の構造						講義	少貳 夕起子	
12	女性の性周期と性ホルモン エストロゲンとプロゲステロンの作用 妊娠の成立 ①ヒトの器官形成や胎盤の役割 ②出産時に働くホルモンの作用						講義	少貳 夕起子	
13	男女の性の決定 男性生殖器の構造と性ホルモン						講義	伊藤 義則	
14	女性の更年期・老年期のホルモン変動に伴う変化						講義	伊藤 義則	
15	試験・解説						試験	三浦 夕香/ 少貳 夕起子/ 大城 清貴	
■期末試験(100)% ☐ 提出物()% ☐ 小テスト()% ☐ 実技試験()% ☐ 口頭試問()% ☐ 発表()% ☐ その他()()%									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
第4版 看護形態機能学 生活行動からみるからだ		菱沼典子			日本看護協会出版会				
参考書									
書名		著者			出版社				
病が見えるシリーズ ⑩泌尿器、①消化器					メディックメディア				
トートラ 人体の構造と機能 第4版					丸善				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	栄養学								
担 当 者	金城 典子/ 専任教員								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 健康と食生活の関わりについて理解し、栄養学の基礎を学習する。									
(到 達 目 標) 人間にとっての栄養の意義を理解する。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	健康と食					講義	金城 典子		
2	栄養素の種類とはたらき					講義	金城 典子		
3	日本人の食事摂取基準 食生活・運動指針 国民健康・栄養調査					講義	金城 典子		
4	食品群 栄養状態評価 食事バランスガイド					講義・演習	金城 典子		
5	ライフステージと栄養 乳幼児期					講義	金城 典子		
6	ライフステージと栄養 学童期～成人期					講義	金城 典子		
7	ライフステージと栄養 妊娠・授乳期 更年期 老年期					講義	金城 典子		
8	試験・解説					講義	金城 典子		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
人体の構造と機能〔3〕 栄養学 第13版					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	微生物学								
担当者	専任教員/ 只野 昌之/ 梅村 正幸								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要) 微生物が生体に及ぼす影響を理解し、病原微生物の種類と特徴から生体への影響を予防する方法を学ぶ。 医療従事者媒介感染を起こさないための知識を学ぶ。									
(到達目標) 微生物の特徴と生体に及ぼす影響を理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	微生物と微生物学					講義	只野 昌之		
2	微生物と感染症(成立・発症・治癒)					講義	只野 昌之		
3	感染源と感染経路、滅菌と消毒					講義	只野 昌之		
4	感染症の治療ー化学療法					講義	只野 昌之		
5	ウイルス学総論(特徴、構造、増殖、分類)					講義	只野 昌之		
6	ウイルス学各論-1					講義	只野 昌之		
7	ウイルス学各論-2					講義	只野 昌之		
8	宿主の生体防御機構(自然免疫のしくみ)					講義	梅村 正幸		
9	宿主の生体防御機構(獲得免疫のしくみ)					講義	梅村 正幸		
10	感染症の現状と対策					講義	梅村 正幸		
11	細菌学総論(特徴、構造、増殖、分類)					講義	梅村 正幸		
12	細菌学各論-1					講義	梅村 正幸		
13	細菌学各論-2					講義	梅村 正幸		
14	真菌・寄生虫学総論					講義	梅村 正幸		
15	試験・解説					講義	専任教員		
■期末試験(100)% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% □発表()% □その他()()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
疾病のなりたちと回復の促進[4] 微生物学						医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
イメージできる臨床生化学						メデイカ出版			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	疾病と治療総論									
担当者	岡田 祥一/ 吉見 直己/ 新里 仁哲/ 専任教員/ 大見謝 克夫/ 仲宗根 雅司/ 仲田 典広/ 樋口 佳代子/ 樋口 京一									
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)対象の健康に大きな影響を及ぼす病気の原因と病状(病態)の機序、諸機能の回復・維持・向上につながる治療法を理解し対象の心身の変化や生活への影響を予測できる臨床判断能力の基盤を学ぶ。										
(到達目標)病気の原因と病状(病態)の機序、諸機能の回復・維持・向上につながる治療法を理解する。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者			
1	1. 病態生理学を学ぶための基礎知識 疾病の要因(内因 外因 生活習慣 ストレス)					講義	樋口 京一			
2	2. 疾病の回復過程 神経内分泌の反応 免疫系の反応 代謝系の反応 回復に影響する要因					講義	樋口 佳代子			
3	主な症状・兆候の診断の実際 ①発熱、倦怠感、意識障害、頭痛、めまい					講義	仲田 典広			
4	主な症状・兆候の診断の実際 ②胸痛、呼吸困難、息切れ、咳嗽					講義	和田 直樹			
5	主な症状・兆候の診断の実際 ③動悸、頻脈、悪心、嘔吐、下痢、吐血、下血					講義	和田 直樹			
6	主な症状・兆候の診断の実際 ④背部痛、関節痛、関節炎、しびれ、浮腫、不眠					講義	和田 直樹			
7	検査概論					講義	仲宗根 雅司			
8	検査各論①					講義	仲宗根 雅司			
9	検査各論②					講義	仲宗根 雅司			
10	治療概論(治療の分類、治療の選択)					講義	澤岷 安勝			
11	手術療法					講義	吉見 直己			
12	放射線療法					講義	新里 仁哲			
13	麻酔の基本、麻酔の分類、麻酔の周術期管理					講義	大見謝 克夫			
14	各種麻酔薬、作用機序、鎮静と麻酔のレベル					講義	大見謝 克夫			
15	筆記試験・解説					講義	専任教員			
■期末試験(100)% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% □発表()% □その他()()%										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名		著者			出版社					
疾病のなりたちと回復の促進 [1] 病理学		大橋 健一			医学書院					
疾病のなりたちと回復の促進 [2] 病態生理学		土居 健太郎			医学書院					
参考書										
書名		著者			出版社					
臨床外科看護総論		池上 徹			医学書院					
臨床放射線医学		尾尻 博也			医学書院					
臨床検査		奈良 信夫			医学書院					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

授業科目名	現代医療論								
担当者	吉見 直己								
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)医学・医療の変遷や体質、現代医療の諸問題等について理解を深め、望ましい医療者・看護師像について学ぶ。									
(到達目標)医学・医療の変遷や本質、現代医療の諸問題等について理解を深める。 学生生活や臨地実習を重ねる中で自分自身を見つめ、望ましい看護師像について考える。 多職種と協働しながら患者を支えていることを理解し、看護の役割を認識する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	医学の原点①					講義	吉見 直己		
2	医学の原点②					講義	吉見 直己		
3	健康と疾病①					講義	吉見 直己		
4	健康と疾病②					講義	吉見 直己		
5	医学と医療					講義	吉見 直己		
6	医療供給体制					講義	吉見 直己		
7	現代医療における諸問題					講義	吉見 直己		
8	試験・解説					講義	吉見 直己		
☒ 期末試験 (80) % ☒ 提出物 (10) % ☒ 小テスト (10) % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
医療概論 健康支援と社会保障制度①			康永 秀生			医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
総合医療論			小泉 俊三 他			医学書院			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野

基礎看護学

授業科目名		基礎看護学概論							
担 当 者		翁長 多代子							
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 「看護とは」を軸に、看護教育と歴史、看護の主要概念(人間・健康・環境・看護・学習)、ナイチンゲールの看護、看護倫理、看護と法律・経済・保健・医療・福祉との連携、等について学び、看護専門職の在り方について考える。さらに、プロジェクト学習を通して人間の健康の理解を深める。 (到 達 目 標) 1.看護の概念をとらえ、看護の変遷と看護の対象を理解する 2.看護職の社会的役割、看護実践の原理と倫理について理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
提出物の期限を厳守すること。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	看護学入門 私が考える看護とは 看護の対象とは 看護の目的は					講義・演習	翁長 多代子		
2	看護理論化による看護の定義					講義	翁長 多代子		
3	看護とは ナイチンゲールの看護					講義	翁長 多代子		
4	近代看護への道・沖縄の看護の歴史					講義・演習	翁長 多代子		
5	看護実践における重要な概念 人間とは 健康とは 環境とは 学習とは					講義・演習	翁長 多代子		
6	国民の健康状態、国民のライフサイクル					講義・演習	翁長 多代子		
7	看護の役割と機能					講義・演習	翁長 多代子		
8	看護の提供のしくみ					講義・演習	翁長 多代子		
9	看護をめぐる制度と政策					講義・演習	翁長 多代子		
10	人間の健康 「大切な人を守ろう」プロジェクト学習①					講義・演習	翁長 多代子		
11	人間の健康 「大切な人を守ろう」プロジェクト学習②					演習	翁長 多代子		
12	人間の健康 「大切な人を守ろう」プロジェクト学習③					演習	翁長 多代子		
13	人間の健康 「大切な人を守ろう」プロジェクト学習④					演習	翁長 多代子		
14	看護サービスの管理					講義・演習	翁長 多代子		
15	試験・解説					講義	翁長 多代子		
■期末試験（70）％ ■提出物（10）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ ■発 表（20）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
基礎看護学〔1〕看護学概論		茂野香おる			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
看護職の基本的責務 2022年版 定義・概念/ 基本法/倫理		手島 恵（監修）			日本看護協会出版会				
看護覚書 本当の看護とそうでない看護		フローレンス・ナイチンゲール			日本看護協会出版会				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	共通基本技術Ⅰ									
担当者	加藤 美月									
開講年次	1年	開講期	1年前期,1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)看護を展開する基本的な思考を修得する。 看護における気づきを見出し、臨床推論の基盤を学ぶ。 (到達目標)1. 看護過程の意義・必要性について理解する。 2. 看護過程におけるクリティカルシンキングとは何かを理解する。 3. 看護過程の構成要素について理解し、看護援助を実践し気づきを身に付けることができる。 4. 看護における記録及び報告について理解できる。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
講義開始前にB5ノート、クリアファイル20～30ポケットを準備して下さい。尚、提出物の提出期限は遵守										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・演習・演習)	担当者			
1	看護に必要な思考プロセス ・看護過程の意義・必要性を理解する。 ・看護過程におけるクリティカルシンキングとは何かを理解する。					講義	加藤 美月			
2	看護過程 ・看護過程とは何かを理解する。 ・情報と看護援助の根拠を関連させて思考するためのアセスメントの意義を理解する。					講義・演習	加藤 美月			
3	看護理論を用いた看護過程の展開を理解する。 ・マズロー、ヘンダーソンの二つの理論					講義・演習	加藤 美月			
4	看護の思考:リフレクティブジャーナル					講義・演習	加藤 美月			
5	プロジェクト学習と実習記録 ・ビジョンとゴールに基づき学習目的を果たすためのプロジェクト学習の要点を理解できる。 ・プロジェクト学習における実習記録の目的と方法の基本を理解する。					講義・演習	加藤 美月			
6	夏季休暇事例の検討 ・夏季休暇中に個人で作成した尾本さんの14のニーズ分析を用いてグループワークを行う。 ・事例検討を通し、事前学習・アセスメント・看護問題の関連を理解する。					講義・演習	加藤 美月			
7	情報の整理・分析・解釈・なりゆき ・事例の患者情報の整理、分析、解釈、なりゆきを理解し、看護計画を立案するまでの一連の過程を理解する。					講義・演習	加藤 美月			
8	看護計画の立案 ・患者の看護目標を達成するための看護計画立案の過程を理解する。					講義・演習	加藤 美月			
9	関連図を書く①: COPD患者 ・患者の疾患や患者に関する情報を整理したり理解するための手段としての関連図の活用を理解する。					講義・演習	加藤 美月			
10	関連図を書く②: ネフローゼ症候群患児 ・情報集のポイントを踏まえた4つのステップで関連図を作成する。					講義・演習	加藤 美月			
11	看護計画の実施と評価① ・看護計画に基づいた実施と評価の過程を理解する。					講義・演習	加藤 美月			
12	看護計画の実施と評価② ・看護過程における実施と評価で行うことを理解する。 ・的確かつ簡潔に患者の状態を報告することができる。					講義・演習	加藤 美月			
13	看護実践場面からの気づき① ・基礎看護学実習Ⅱで看護過程を展開しての学び					講義・演習	加藤 美月			
14	看護実践場面からの気づき② ・基礎看護学実習Ⅱでの看護場面からの気づき					講義・演習	加藤 美月			
15	まとめ・振り返り					講義・演習	加藤 美月			
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 (55) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 (講義・演習参加状況) (45) %										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者			出版社				
基礎看護学[2] 基礎看護学技術Ⅰ			茂野 音おる			医学書院				
看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント			高木 永子(編集)			学研				
参考書										
書名			著者			出版社				
基礎看護技術 看護過程の中で技術を理解する			香巻知永/爾藤やよい(編集)			南江堂				
NCボックス 関連図の書き方をマスターしよう			ナーシングカレッジ編集部			医学芸術社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										
共通基本技術「看護の思考」は看護実践に際しての基本的な考え方を導いてくれるものです。個人思考、グループワークを大いに活用して理解を深めていきましょう。										

授業科目名	共通基本技術Ⅱ									
担当者	栗國 美由紀/ 翁長 多代子/ 加藤 美月/ 照屋 智恵/ 専任教員									
開講年次	1年	開講期	1年前期	授業回数	10	時間数	20	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要) 環境が人に及ぼす影響について考え、生活環境や環境の要素について学ぶ。 療養環境調整する事の意義を考え環境整備の方法を修得する										
(到達目標) 1. 療養環境を整えることの意義・目的・方法を理解する。 2. 環境調整の意味を考え実践する事ができる。										
履修における注意事項（受講ルールなど）										
試験を受ける条件として演習(①、②)を終了していること。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)		担当者		
1	テーマ:「健康回復に向けてその人にとって心地よい環境を整える看護の役割とは」 療養環境条件や整える意義 1)環境調整の及ぼす影響、習慣と個人的価値の類似や相違について考える。					講義		照屋 智恵		
2	病床・病室環境のアセスメントと整備の方法 1)病床環境がどのようなものか学び、看護の視点を身につける。 2)病床環境に対する看護の役割を理解する。 3)環境整備・ベッドメイキング					講義		照屋 智恵		
3	演習① 1)クローズドベッド 2)オープンベッド					講義・演習		栗國 美由紀/ 翁長 多代子/ 加藤 美月		
4	演習① 1)クローズドベッド 2)オープンベッド					演習		栗國 美由紀/ 翁長 多代子/ 加藤 美月		
5	1回目～4回目の講義内容を踏まえ「事例①(臥床状態)」の療養環境を整える方法を考える。					講義・演習		栗國 美由紀		
6	演習② 「事例①(臥床状態)」を踏まえ病床環境を整えることができる。					演習		栗國 美由紀		
7	1)クローズドベッド・オープンベッド 2)臥床患者の下シーツ、横シーツ交換					実技試験		栗國 美由紀		
8	1)クローズドベッド・オープンベッド 2)臥床患者の下シーツ、横シーツ交換					実技試験		栗國 美由紀		
9	テーマ:「健康回復に向けてその人にとって心地よい環境を整える看護の役割とは」					講義		栗國 美由紀		
10	試験・解説							栗國 美由紀		
■期末試験（50）％ ■提出物（10）％ □小テスト（ ）％ ■実技試験（30）％ □口頭試問（ ）％ □発表（ ）％ ■その他（出席・演習参加度）（10）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者			出版社				
基礎看護学〔3〕 基礎看護技術Ⅱ			任 和子			医学書院				
最新版 写真でかる 基礎看護技術 アドバンス			〔監修〕吉田みつ子			インターメディカ				
参考書										
書名			著者			出版社				
フローレンスナイテイングール看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護			小玉香津子・尾田葉子【訳】			日本看護協会出版会				
学生のためのヒヤリハットに学ぶ看護技術			川島 みどり			医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）										

授業科目名	共通基本技術Ⅲ								
担 当 者	栗國 美由紀/ 鎌田 実樹/ 専任教員								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) ・看護実践に必要なコミュニケーションの基本および技法について学ぶ。 ・医療現場における感染防止の基本原則を理解し、必要な感染防止技術を学ぶ。									
(到 達 目 標) 1. 看護の場において、技法を用いたコミュニケーションを実践できる。 2. 医療現場における感染防止の基本について理解し、感染防止技術を実践できる。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
※試験を受ける条件として各単元演習を終了していること。 ※各単元の出席を2/3以上で試験を受けることができる。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	基礎看護技術を学ぶ意義と目的、基礎看護領域で学ぶ技術内容紹介 コミュニケーションの基本					講義・演習	栗國 美由紀		
2	コミュニケーションの基本、構成要素 ・言葉のキャッチボール医療的コミュニケーション、他已紹介、意図的コミュニケーション					講義・演習	栗國 美由紀		
3	看護場面における効果的なコミュニケーション技法①					講義・演習	栗國 美由紀		
4	看護場面における効果的なコミュニケーション技法②					講義・演習	栗國 美由紀		
5	言語機能に障害のある方とのコミュニケーション					講義	栗國 美由紀		
6	・感染防止対策の基本的な考え方 ・感染防止における看護師の責務と役割					講義	鎌田 実樹		
7	・標準予防策					講義	鎌田 実樹		
8	演習① ガウンテクニック、手洗い					演習	鎌田 実樹		
9	感染経路別予防策					講義	鎌田 実樹		
10	感染源の対策 (洗浄・滅菌・消毒法)					講義	鎌田 実樹		
11	感染源対策(滅菌物の取り扱い)					講義	鎌田 実樹		
12	演習② 滅菌物の取り扱い、滅菌手袋の着脱					演習	鎌田 実樹		
13	演習② 滅菌物の取り扱い、滅菌手袋の着脱					演習	鎌田 実樹		
14	・針刺し防止・講義まとめ講義内容のまとめ					講義	鎌田 実樹		
15	試験・解説						栗國 美由紀/ 鎌田 実樹		
☒ 期末試験 (50) % ☒ 提出物 (40) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 (出席状況や演習参加度) (10) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
基礎看護学〔3〕 基礎看護学Ⅰ		茂野 香おる			医学書院				
写真でわかる 基礎看護技術 アドバンス		吉田 みつ子			インターメディカ				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	共通基本技術Ⅳ									
担当者	栗國 美由紀/ 伊藤 義則/ 専任教員/ 加藤 美月									
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)看護におけるヘルスアセスメントの必要性を理解し、フィジカルアセスメントの基本技術(バイタルサイン測定を含む)について理解し実践する力を身に付ける事ができる。										
(到達目標)1. 解剖的知識をふまえて、身体診査の手技を修得する。 2. バイタルサインの観察の目的を理解し、測定技術を修得する。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
※テストを受ける条件として演習を終了していること										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	ヘルスアセスメント ・看護におけるアセスメントの目的 ・ヘルスアセスメントと看護実践						講義	栗國 美由紀		
2	アセスメントの技術-1 フィジカル・イグザミネーションの基本(問診・視診・聴診・触診・打診)						講義	栗國 美由紀		
3	アセスメントの技術-2 フィジカル・イグザミネーションの実際(問診・視診・聴診・触診・打診)						講義・演習	栗國 美由紀		
4	アセスメントの技術-3 1)入院時のアセスメントの基本-身体計測(身長・体重・腹囲・頭囲・握力など)						講義	栗國 美由紀		
5	2)入院時のアセスメントの実際(各自測定)						演習	栗國 美由紀		
6	バイタルサイン測定法 1)バイタルサインの目的・方法 2)体温測定法 3)脈拍測定法						講義	栗國 美由紀		
7	4)血圧測定法 5)血圧測定法 6)意識状態						講義	栗國 美由紀		
8	バイタルサイン測定法の実際-1						講義・演習	栗國 美由紀		
9	バイタルサイン測定法の実際-2						講義・演習	栗國 美由紀		
10	演習-バイタルサイン測定法-1						演習	栗國 美由紀/ 専任教員		
11	演習-バイタルサイン測定法-2						演習	栗國 美由紀/ 専任教員		
12	生活行動別アセスメント 1)栄養を届ける(循環器) 2)息をする(呼吸器)						講義・演習	栗國 美由紀		
13	3)食べる(消化器) 4)動く(運動器) 5)恒常性を保つ(内分泌)						講義・演習	栗國 美由紀		
14	6)恒常性を保つ(脳神経系)						講義・演習	栗國 美由紀/ 伊藤 義則/ 専任教員		
15	まとめ・試験							栗國 美由紀/ 伊藤 義則/ 専任教員		
■期末試験(50)% ■提出物(50)% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% □発表()% □その他()()%										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者			出版社				
基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅰ			茂野香おる			医学書院				
写真でわかる 看護のためのフィジカルアセスメント アドバンス			守田美奈子(監修)			インターメディカ				
参考書										
書名			著者			出版社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										
技術習得のための課題があります。										

授業科目名	日常生活援助技術Ⅰ								
担 当 者	粟國 美由紀/ 加藤 美月/ 松川 弥生/ 専任教員/ 大城 清貴/ 島袋 彩								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)人間にとっての食事・栄養摂取や排泄の意義を理解し、基本的な援助方法を修得する。									
(到 達 目 標)1. 安全安楽な食事援助、排泄援助ができる。 2. 演習を通して患者の気持ちを推察できる									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
※テストを受ける条件として演習を終了していること 各单元ごとに3分の2以上出席の上でテストを受けることができる。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 食事・栄養摂取の意義としくみ・アセスメント 2. 食事の種類と形態					講義	大城 清貴		
2	3. 食事摂取の介助 4. 摂取・嚥下訓練					講義	大城 清貴		
3	5. 経腸栄養、中心静脈栄養、末梢静脈栄養					講義	大城 清貴		
4	6. 演習 対象に適した姿勢調整と援助(体位制限のある患者)					演習	大城 清貴		
5	1. 排泄援助の基礎知識と看護者の基本姿勢 2. 排泄援助の実際 1) ポータブルトイレの使用方法 2) 便器・尿器を用いた援助方法					講義	加藤 美月		
6	3)おむつ交換の援助方法(デモ)					講義・演習	加藤 美月		
7	4. 演習①便器挿入・おむつ交換の援助方法					講義・演習	加藤 美月		
8	演習②おむつ交換の援助方法					演習	加藤 美月		
9	5. 排便障害と援助 グリセリン浣腸の実際(デモ)					講義・演習	加藤 美月		
10	6. 演習③ 1)グリセリン浣腸・陰部洗浄					演習	加藤 美月		
11	演習③ 1)グリセリン浣腸・陰部洗浄					演習	加藤 美月		
12	7. 排尿障害と援助 一時的導尿の実際					講義	加藤 美月		
13	排尿障害と援助 一時的導尿の実際(デモ)					講義・演習	加藤 美月		
14	8. 演習④ 1) 一時的導尿					演習	加藤 美月		
15	まとめ・試験					講義	専任教員/ 加藤 美月		
☒ 期末試験 (70) % ☒ 提出物 (30) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ		茂野香おる			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
写真でわかる 臨床看護技術アドバンス					インターメディカ				
写真でわかる 基礎看護技術アドバンス					インターメディカ				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	日常生活援助技術Ⅱ								
担 当 者	栗國 美由紀/ 浦崎 真由/ 嘉陽 宗司/ 金城 知子/ 上原 八穂/ 西平 扇姫/ 専任教員/ 國仲 恭子/ 與那覇								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)・姿勢・活動および睡眠・休息が人に与える影響、活動動作における阻害因子を理解し体位変換、移動・移送方法を学ぶ。 ・清潔の意義を理解し、清潔の援助の方法を修得する。									
(到 達 目 標)1. ボディメカニクスの原理を理解し、対象者と看護者双方が、効果的・効率的にケアを実践する方法を理解することができる。 2. 清潔援助を実施する意義を理解し、実践できる。 3. 人間の日常生活における清潔の意義を理解できる 4 演習を通して患者の気持ちを推察できる									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
※テストを受ける条件としてそれぞれの単元の演習を終了していること ※各単元ごとに3分の2以上出席の上でテストを受けることができる。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者		
1	1. 安楽な体位の保持 2. ボディメカニクスの基本					講義・演習	金城 知子		
2	3. 運動機能の低下した人の援助 4. 体位変換の援助・車椅子への移乗援助					講義・演習	金城 知子		
3	5. 演習(水平移動、体位変換、仰臥位から 側臥位・端座位)へ移乗動作					講義・演習	金城 知子		
4	5. 演習(水平移動、体位変換、仰臥位から 側臥位・端座位)へ移乗動作					講義・演習	金城 知子		
5	6. 安静保持の援助 7. 睡眠の援助 8. 活動のアセスメント 1) 廃用症候群・深部静脈血栓症・褥瘡など 2) 運動機能のアセスメント					講義・演習	金城 知子		
6	清潔援助の実際 1) 足浴・手浴援助の基礎知識					演習	栗國 美由紀		
7	演習 ① 臥床患者の足浴					演習	栗國 美由紀		
8	演習 ① 臥床患者の足浴					講義・演習	栗國 美由紀		
9	2) 洗髪 of 清潔意義 3) 陰部の清潔意義 4) 口腔を清潔にする意義					演習	栗國 美由紀		
10	演習 ② 陰部洗浄					演習	栗國 美由紀/ 専任教員		
11	全身清拭援助 洗髪援助の基礎知識 全身清拭の実際					講義・演習	栗國 美由紀		
12	演習 ③ ベッド臥床状態の患者の全身清拭					演習	栗國 美由紀/ 専任教員		
13	演習 ③ ベッド臥床状態の患者の全身清拭					演習	栗國 美由紀/ 専任教員		
14	洗髪の実際					講義・演習	上原 八穂		
15	試験・解説					まとめ・試験解説 栗國 美由紀/ 専任教員			
☒ 期末試験 (60) % ☒ 提出物 (30) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☒ その他 (講義参加度) (10) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
基礎看護学 [3] 基礎看護技術Ⅱ		任 和子			医学書院				
写真でわかる基礎看護技術アドバンス		吉みつ子 (監修)			インターメディカ				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
看護がみえる①基礎看護技術					メディックメディア				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	診療の補助に伴う援助技術									
担当者	専任教員/ 木村 剛士/ 仲筋 優理子									
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期		授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標										
(概要)診療の補助業務における看護の役割を理解し、検査・診療に伴う援助方法を修得する。 薬物療法の意義を理解し、薬物療法を受ける患者に必要な援助方法を修得する。										
(到達目標)1.診療の補助に伴う看護の役割を理解し、基礎的知識、技術、態度を修得できる。 2.包帯法、静脈血採血・各種与薬の手順を理解し、安全に実施するための基礎的能力を身に付けることができる。										
履修における注意事項（受講ルールなど）										
※テストを受ける条件として各単元の演習を終了していること。各単元ごとに3分の2以上出席の上でテストを受けることができる。 ※単元「与薬の援助」は協同学習で進めていきます。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 検査・診療における看護の役割 2. 検査介助に関する基礎知識 3. 臨床で結果が分かる検査(SPO2)						講義	仲筋 優理子		
2	4. 検体検査(排泄物・穿刺液)とその取扱い 5. 腰椎・胸腔・腹腔穿刺時の看護 6. 生体検査時の看護						講義	仲筋 優理子		
3	7. 創傷管理と包帯法の基礎知識 1)包帯法2)三角巾						講義・演習	仲筋 優理子		
4	8. 演習 ①1)包帯法 2)三角巾						演習	仲筋 優理子		
5	9. 血液検査の援助 1)静脈血採血方法 2)動脈血採血法 3)毛細血管採血法(血糖測定)						講義・演習	仲筋 優理子		
6	10. 演習②静脈血採血方法						演習	仲筋 優理子		
7	1. 薬物療法の意義・目的、基礎知識 2. 看護の役割						講義・演習	木村 剛士		
8	各種与薬法 1)経口薬 2)点鼻・点耳・点眼 3)吸入 4)貼付薬・軟膏 5)坐薬(演習①)						講義・演習	木村 剛士		
9	演習①直腸内与薬法						演習	木村 剛士		
10	各種注射法 1)皮下・皮内注射(演習②) 2)筋肉内注射 3)静脈内注射、点滴静脈内注射(体液バランス、演習④) 4)輸血療法(体液バランス)						講義・演習	木村 剛士		
11	演習②(皮下注射)						演習	木村 剛士		
12	演習③(筋肉内注射)						演習	木村 剛士		
13	演習④点滴静脈内注射						演習	木村 剛士		
14	輸注ポンプ、輸液ポンプ、輸血、講義全体まとめ						講義	木村 剛士		
15	試験・解説						試験	木村 剛士/ 仲筋 優理子		
☐ 期末試験 (50) % ☐ 提出物 (40) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 (講義・演習参加度) (10) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名		著者				出版社				
基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③		有田清子、有田秀子、その他				医学書院				
写真でわかる 臨床看護技術① アドバンス		本庄 恵子				インターメディカ				
参考書										
書名		著者				出版社				
写真でわかる 臨床看護技術② アドバンス		本庄 恵子				インターメディカ				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

地域・在宅看護論

授業科目名				地域・在宅看護概論Ⅰ					
担 当 者				吉田 知美					
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)地域で暮らす人々を取り巻く環境を学ぶ。									
(到 達 目 標)人々の暮らしを理解し、暮らしの中で人々の社会的な位置づけや健康に与える影響を考え理解する。 ① 人の一生を通して生活することについて考え理解する。 ② 発達段階に沿って支え合って生きていること社会的な存在であることを理解する。 ③ 地域の生活環境が健康に与える影響について考える。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
・個人ワーク、グループワークでの課題学習は期限を守る。 ・各学生の学びをディスカッションし、メンバーの意見を尊重し、学びの共有を図る。 ・話し合いでは、相手に分かりやすい表現となるように工夫する。 ・学習した内容を俯瞰できるようにファイリングする。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	人々の暮らしと地域・在宅看護					講義・演習	吉田 知美		
2	暮らしの基盤としての地域の理解・地域包括ケアシステム					講義・演習	吉田 知美		
3	地域・在宅看護の対象者・家族の理解					講義・演習	吉田 知美		
4	多職種連携					講義・演習	吉田 知美		
5	地域における暮らしを支える制度					講義・演習	吉田 知美		
6	地域・在宅看護実践の場と連携					講義・演習	吉田 知美		
7	地域における暮らしを支える看護・実習の振り返り					演習	吉田 知美		
8	地域における暮らしを支える看護 発表					演習	吉田 知美		
☐ 期末試験 () % ■提出物 (80) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (出席状況) (20) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
『地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①』			河原 加代子			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
『基礎からわかる地域・在宅看護論』			池西 静江 編著			株式会社 照林社			
新訂版『写真でわかる訪問看護 アドバンス』			押川 真貴子 監修			インターメディカ			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	地域・在宅看護概論Ⅱ								
担 当 者	吉田 知美/ 上里 一之/ 専任教員								
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、在宅看護の目的・基本的な理念や概念を学ぶ。在宅看護の対象者やその家族の特性と支援のあり方、ならびにその支援の基盤となる訪問看護制度を学ぶ。さらに地域包括ケアシステムの基本、社会資源について学ぶ。									
(到 達 目 標)① 社会の変化における在宅看護の必要性が理解できる。 ② 在宅看護の目的・基本的な理念、概念を理解できる。 ③ 在宅看護の対象者とその家族の特徴を理解する。 ④ 在宅療養者とその家族を支える訪問看護制度および社会資源について理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	地域療養を支える制度					講義	吉田 知美		
2	在宅療養者と家族の支援					講義	吉田 知美		
3	在宅療養者と家族の支援					講義	吉田 知美		
4	多職種連携					講義	吉田 知美		
5	地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護					講義	吉田 知美		
6	地域社会について ・地域包括ケアシステム ・インクルーシブ社会について					講義	上里 一之		
7	在宅療養を支える訪問看護					講義	吉田 知美		
8	試験および振り返り						吉田 知美		
☒ 期末試験 (60) % ☒ 提出物 (40) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
『地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論①』			河原 加代子			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
『基礎からわかる地域・在宅看護論』			池西 静江 編著			株式会社 照林社			
新訂版『写真でわかる訪問看護 アドバンス』			押川 真貴子 監修			インターメディカ			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
体調管理に留意し、授業に参加してください。 ・理解が困難な内容や言葉などは、自己学習やクラスメンバー、担当教員へ質問し全員が学習目標を到達できるよう工夫していきましょう									

成人看護学

授業科目名	成人看護学概論									
担当者	三浦 夕香/ 嶺井 良恵									
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要) さまざまな役割を担う成人期にある人の健康に焦点をあて、生涯発達の見地から対象を捉えたとともに、病態と治療の基礎知識を基盤に療養生活を支える看護を学ぶ。 (到達目標) 1. 成人とはどのような人か、法的、生物学的、文化的側面からその定義を理解する。 2. 成人期にある人の心身の変化および発達課題の特徴を理解する。										
履修における注意事項（受講ルールなど）										
学校規定のルールに則って受講すること。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・演習・実技)	担当者			
1	成人とは 成人期の特徴1 ・成人の心身の特徴と変化・ライフサイクルからみた成人期の特徴と発達課題 ・社会との相互作用からみた成人期の特徴・文化のなかで生きる成人					講義	嶺井 良恵			
2	成人期の特徴2					講義	嶺井 良恵			
3	成人期の特徴3					講義	嶺井 良恵			
4	成人を取りまく環境と生活からみた健康 人口・経済・環境・ライフスタイル・日常の暮らしと多様性					講義	嶺井 良恵			
5	成人の健康の状況 生と死の動向・健康格差・職業疾病・業務上疾病・受療状況 ・生活習慣病・メンタルヘルスと自殺者数					講義	嶺井 良恵			
6	成人の健康と生活をまもり保つシステム 保健・医療・福祉システム 保健医療福祉政策・福祉にかかわる対策(ノーマライゼーション)					講義	嶺井 良恵			
7	成人への看護アプローチの基本①					講義	嶺井 良恵			
8	成人への看護アプローチの基本②					講義	嶺井 良恵			
9	試験(中間評価)					試験	嶺井 良恵			
10	健康状態に応じた看護① ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション					講義	三浦 夕香			
11	健康状態に応じた看護② 急性期にある人への看護 健康状態に応じた看護③ 慢性期にある人への看護 健康状態に応じた看護④ リハビリテーションを必要とする人への看護 健康状態に応じた看護⑤ 終末期にある人への看護 ※協同学習に進める					講義・演習	三浦 夕香			
12	健康状態に応じた看護② 急性期にある人への看護 健康状態に応じた看護③ 慢性期にある人への看護 健康状態に応じた看護④ リハビリテーションを必要とする人への看護 健康状態に応じた看護⑤ 終末期にある人への看護					講義・演習	三浦 夕香			
13	健康状態に応じた看護② 急性期にある人への看護 健康状態に応じた看護③ 慢性期にある人への看護 健康状態に応じた看護④ リハビリテーションを必要とする人への看護 健康状態に応じた看護⑤ 終末期にある人への看護					講義・演習	三浦 夕香			
14	健康状態に応じた看護② 急性期にある人への看護 健康状態に応じた看護③ 慢性期にある人への看護 健康状態に応じた看護④ リハビリテーションを必要とする人への看護 健康状態に応じた看護⑤ 終末期にある人への看護					講義・演習	三浦 夕香			
15	健康状態に応じた看護⑥ さまざまな健康レベルにある人の継続的移行支援					講義	三浦 夕香			
■期末試験(40) % ■提出物(60) % □小テスト() % □実技試験() % □口頭試験() % □発表() % □その他() () %										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名		著者			出版社					
成人看護学1 成人看護学総論		小松浩子ほか			医学書院					
参考文献										
書名		著者			出版社					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										
成人看護学の基礎となる科目です。成人看護学援助論Ⅰ～Ⅳ・成人看護方法論ではさらに詳しく学習を進めています。										

老年看護学

授業科目名		老年看護学概論							
担当者		上原 八穂/ 専任教員/ 宮城 孝徳/ 照屋 智恵							
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)(概要)超高齢社会に生きる高齢者を総合的に理解する。日本の歴史的背景を踏まえ、社会制度と関連付け高齢者のありのままの生活を捉える。また、高齢者が生活する場の多様性や健康を支えるための施策ならびに看護を学ぶ。高齢者と関わる者として必要な倫理的態度について学ぶ。									
(到達目標)(到達目標) 超高齢社会に生きる高齢者の生活と、加齢による健康状態の変化について、社会制度と関連付けながら、ありのままを捉えることができる。多様な場で生活する高齢者の健康をささえる為の看護について、関心を持つことが出来る。高齢者に関わる際に必要な倫理的態度を身につける。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
原則として、演習は必ず出席すること。やむを得ず欠席する際は、事前に担当教員に相談すること									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	老年看護を学ぶ入り口					講義	上原 八穂		
2	高齢者の加齢変化					講義	上原 八穂		
3	高齢者の心理的・社会的変化					講義	上原 八穂		
4	高齢者の身体・心理・社会的特徴(新聞学習より)					講義	上原 八穂		
5	超高齢社会の統計的輪郭と社会制度					講義	上原 八穂		
6	高齢者のヘルスプロモーション					講義	上原 八穂		
7	高齢者の疑似体験(高齢者像)					講義	上原 八穂/ 宮城 孝徳/ 照屋 智恵		
8	高齢者の疑似体験					演習	上原 八穂/ 宮城 孝徳/ 照屋 智恵		
9	高齢者の疑似体験					演習	上原 八穂/ 宮城 孝徳/ 照屋 智恵		
10	高齢者の疑似体験の振り返り					講義	上原 八穂/ 宮城 孝徳/ 照屋 智恵		
11	高齢者が生活する場の多様性					講義	上原 八穂		
12	多職種連携と家族への看護					講義	上原 八穂		
13	高齢者特有のリスクマネジメント					講義	宮城 孝徳		
14	高齢者の権利擁護/老年看護の役割					講義	宮城 孝徳		
15	試験・解説					試験	上原 八穂/ 宮城 孝徳		
☒ 期末試験 (90) % ☒ 提出物 (10) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 老年看護学 第9版		北川 公子			医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
高齢者ケアアドバンス		古田愛子			インターメディカ				
高齢社会白書					内閣府				
老いの臨床心理		黒川由紀子			日本評論社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

小児看護学

授業科目名	小児看護学概論								
担当者	翁長 多代子/ 加藤 美月/ 宜保 真由美/ 米丸 裕樹								
開講年次	1年	開講期	1年前期, 1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)小児看護学の理念を理解し、教育の基礎となる生活と養護及び適切な援助、小児を取り巻く社会の動向について学ぶ。									
(到達目標)小児看護の理念や、小児を取り巻く社会の動向について理解する。 小児の成長・発達、支援方法について理解する。 子どもの最善の利益を守るための制度や看護について理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
提出物の期限は厳守すること。演習は必ず参加すること。グループワークは積極的に意見交換を行うこと。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	小児看護とは・小児看護の対象と目標					講義	加藤 美月		
2	小児を取り巻く医療の変遷と課題 小児と家族 小児看護における概念と理論					講義	加藤 美月		
3	小児を守る法律と制度 (児童福祉法、母子保健法、児童虐待防止法)					講義	宜保 真由美		
4	保健統計からみた小児と健康問題 予防接種					講義	翁長 多代子		
5	身近な子どもたちの取り巻く環境を知る					演習	翁長 多代子		
6	子どもの最善の利益になかう医療・看護・子どもの権利					講義	翁長 多代子		
7	小児の成長・発達と発達段階に応じた日常生活援助 ・成長発達の原則と影響因子 ・発達評価 ・小児の生活を支える成長と機能の発達 ①乳児期の子どもの成長・発達と看護					講義	加藤 美月		
8	小児の成長・発達と発達段階に応じた日常生活援助 ・成長発達の原則と影響因子 ・発達評価 ・小児の生活を支える成長と機能の発達 ②幼児期の子どもの成長・発達と看護					講義	加藤 美月		
9	学童期の子どもの成長・発達と看護					講義	宜保 真由美		
10	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援 ①食事 ②排泄 ③睡眠 ④身だしなみを整える(清潔・衣生活) ⑤遊び					演習	翁長 多代子/ 加藤 美月		
11	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援 ①食事 ②排泄 ③睡眠 ④身だしなみを整える(清潔・衣生活) ⑤遊び					演習	翁長 多代子/ 加藤 美月		
12	小児の発達に伴う生活行動の変化と日常生活の支援 ①食事 ②排泄 ③睡眠 ④身だしなみを整える(清潔・衣生活) ⑤遊び					演習	翁長 多代子/ 加藤 美月		
13	思春期の子どもの成長・発達と看護					講義	宜保 真由美		
14	小児の事故と外傷					講義	米丸 裕樹		
15	試験・解説						翁長 多代子/ 加藤 美月		
☒ 期末試験 (70) % ☒ 提出物 (30) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社					
小児看護学概論 小児臨床看護総論				医学書院					
参考書									
書名		著者		出版社					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

母性看護学

授業科目名	母性看護学概論									
担当者	少貳 夕起子/ 前泊 典子									
開講年次	1年	開講期	1年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標 (概要)・母性看護の概念を学び、母性のライフサイクルに合わせたヘルスプロモーションについて学ぶ。 ・対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解し、母性看護の役割を学ぶ。 ・わが国の母子保健対策を理解し、実践について考える。 (到達目標)1. 母性看護の概念を理解し、母性看護の示す機能と役割について知る。 2. 母性に付随する様々な問題を母子保健の立場から整理し、考えを述べる事が出来る。 3. リプロダクティブヘルスの視点から、健康教育の意義について考えを述べる事が出来る。										
履修における注意事項(受講ルールなど) 提出物の期限は厳守すること。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者			
1	1. 母性看護の基盤となる概念 ①母性とは ②母子関係と家族発達 ③セクシュアリティ ④リプロダクティブヘルス/ライツ ⑤ヘルスプロモーション					講義	前泊 典子			
2	⑥母性看護のあり方 ⑦母性看護における倫理 ⑧母性看護における安全・事故予防					講義	前泊 典子			
3	2. 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 ①母性看護の歴史的変遷と現状 ②指標とその推移					講義	前泊 典子			
4	③母性看護に関する組織と法律・施策 ④母性看護の提供システム					講義	前泊 典子			
5	3. 母性看護の対象理解 ①女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化					発表	少貳 夕起子			
6	②女性のライフサイクルと家族 ③母性の発達・成熟・継承					講義	前泊 典子			
7	4. 女性のライフステージ各期における看護 ①思春期・性成熟期・更年期・老年期の健康と看護					講義	少貳 夕起子			
8	5. リプロダクティブヘルスケア ①家族計画 ②性感染症とその予防					講義	少貳 夕起子			
9	③HIVに感染した女性に対する看護 ④人工妊娠中絶と看護					講義	少貳 夕起子			
10	⑤喫煙と女性の健康 ⑥性暴力を受けた女性に対する看護 ⑦児童虐待と看護 ⑧国際化社会と看護					発表	少貳 夕起子			
11	6. 模擬集団保健指導 ①テーマ・目的・目標 ②内容・方法・役割分担 ③計画書作成					講義	少貳 夕起子			
12	③計画書作成 ④パワーポイント作成					講義	少貳 夕起子			
13	⑤模擬集団保健指導実演					演習・発表	少貳 夕起子			
14	⑤模擬集団保健指導実演					演習・発表	少貳 夕起子			
15	試験・解説					講義	少貳 夕起子			
■期末試験(80)% ■提出物(10)% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% ■発表(10)% □その他() ()%										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教 科 書										
書 名					著 者	出 版 社				
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論						医学書院				
参 考 書										
書 名					著 者	出 版 社				
厚生労働省 増刊 国民衛生の動向						厚生労働統計協会				
母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル						南江堂				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

精神看護学

授業科目名 精神看護学概論									
担 当 者 兼浜 克弥/ 大城 拓三/ 非常勤講師									
開 講 年 次	1年	開 講 期	1年前期, 1年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)心の健康の保持、増進、疾病の予防や、健康の回復の全てに関わる精神看護の概念を理解し、精神看護の基本的視点を持つことができる。心の健康に影響する現代社会の諸相と、精神保健医療福祉の現況を知り、我が国有数の疾病である精神疾患に関心を向けることができる。									
(到 達 目 標)①精神看護の概念を理解し、精神看護の基本的視点を持つことができる。 ②我が国有数の疾病である精神疾患に関心を向けることができる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
※授業の評価方法は、出席・小テスト・レポート・発表などから総合的に行うため、計画的に授業に参加してください。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	精神看護学とはなにか					講義	大城 拓三		
2	人間のこころの働き					講義	大城 拓三		
3	心のケアと現代社会①					講義	大城 拓三		
4	心のケアと現代社会②					演習	大城 拓三		
5	心のケアと現代社会③					演習	大城 拓三		
6	心のケアと現代社会④					演習	大城 拓三		
7	心のケアと現代社会⑤					演習	大城 拓三		
8	精神医療の歴史					講義	大城 拓三		
9	精神保健医療福祉の法制度①					講義	大城 拓三		
10	精神保健医療福祉の法制度②					講義	大城 拓三		
11	精神障がい者の診断と分類					講義	大城 拓三		
12	地域における精神障がい者①					講義	兼浜 克弥		
13	地域における精神障がい者②					演習	兼浜 克弥		
14	精神障がい者の理解①					講義	大城 拓三		
15	精神障がい者の理解②					演習	大城 拓三		
☐ 期末試験 () % ■提出物 (20) % ■小テスト (50) % □実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ■発 表 (30) % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門分野 精神看護【1】 精神看護の基礎 第6版		武井麻子			医学書院				
系統看護学講座 専門分野 精神看護【2】 精神看護の展開 第6版		武井麻子			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

シラバス 2025

2学年

授業科目

基礎分野

授業科目名	教育学								
担当者	柴田 聡史								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標									
(概要)教育の原理を学び、人間形成における教育の機能を理解する。また、指導技術の基礎を学ぶ。									
(到達目標)									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	オリエンテーション(授業の概要、方法、計画、イントロダクション)					講義	柴田 聡史		
2	教育の意義と目的(人間形成と教育、教育の必要性など)					講義	柴田 聡史		
3	人間の発達と学習①(子ども観、発達段階など)					講義	柴田 聡史		
4	人間の発達と学習②(学習の原理とその特徴など)					講義	柴田 聡史		
5	教育の歴史と制度①(次世代育成の展開)					講義	柴田 聡史		
6	教育の歴史と制度②(学校制度の誕生と展開)					講義	柴田 聡史		
7	教育の歴史と制度③(現代の教育制度-学校・教員)					講義	柴田 聡史		
8	教育の現代的課題と前半のまとめ					講義	柴田 聡史		
9	教えることと学ぶこと(指導の基本的な考え方)					講義	柴田 聡史		
10	学びを評価する(学習評価の特徴と要素)					講義	柴田 聡史		
11	指導の実践(効果的な指導)					講義	柴田 聡史		
12	指導の実践②(様々な指導の技法)					講義	柴田 聡史		
13	専門職としてどのように学ぶか(生涯学習の必要性、成人学習の特徴)					講義	柴田 聡史		
14	専門職として何のために学ぶか(力量形成、キャリア開発)					講義	柴田 聡史		
15	講義のまとめ					講義	柴田 聡史		
☐ 期末試験 () % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☒ その他 (出席状況、提出物、期末試験またはレポート) (100) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
毎回資料を配布									
参考書									
書名		著者			出版社				
授業時間に紹介									
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
人間形成の原理や方法を時間軸と文化軸の双方から考察することで科学的思考の基盤を形成するとともに、グループ単位で模擬授業を計画・実施することで教育技術の獲得および他社理解の視点を確立し、看護実践における基礎的力量の形成をなす。									

專門基礎分野

授業科目名 生化学									
担 当 者 稲福 征志/ 専任教員/ 梅村 正幸									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) さまざまな生体機能のなかで、正常を維持するためにどの物質が重要な役割を果たしているのか、正常から異常へと変化する際にどの経路が関連するのかを学ぶ。									
(到 達 目 標) 人体を構成する化学物質の症状、その分布および代謝について理解する。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方 法 (講義・実験・演習)	担 当 者		
1	生化学の基礎知識 細胞の構造と機能(第1章)					講義	稲福 征志		
2	代謝の基礎と酵素・補酵素・ビタミン(第2章)					講義	稲福 征志		
3	糖質の構造と機能(第3章)					講義	稲福 征志		
4	脂質の構造と機能(第5章)					講義	稲福 征志		
5	タンパク質の構造と機能(第7章)					講義	稲福 征志		
6	糖質代謝(第4章)					講義	梅村 正幸		
7	脂質代謝(第6章)					講義	梅村 正幸		
8	タンパク質代謝(第8章)					講義	梅村 正幸		
9	ポリフィリン代謝・活性酸素(第9章)					講義	梅村 正幸		
10	核酸の構造とその代謝(第10章)					講義	梅村 正幸		
11	DNAの複製・転写・翻訳(第11・12・13章)					講義	梅村 正幸		
12	内分泌(ホルモン)の生化学的基盤(第14章)					講義	梅村 正幸		
13	がん(第15章)					講義	梅村 正幸		
14	エネルギー代謝の統合と制御					講義	梅村 正幸		
15	試験・解説					講義	稲福 征志/ 梅村 正幸		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☒ 小テスト (0) % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
生化学 人体の構造と機能 [2]					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
臨床生化学 人体の構造と機能②					メディカ出版				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
生化学を学ぶにあたり、難解な物質名や複雑な化学式をすべて暗記する必要はありません。重要なのは、さまざまな生体機能の中で、正常な状態を維持するためにどの物質が重要な役割を果たしているのか、また、疾患が発生した際にどの代謝経路が関与するのかを意識しながら、自分の中でイメージを描き、理解を深めることです。ここで習得した概念や知識は、栄養学、病理学、薬理学、各臓器別の成人看護学など、さまざまな分野での学習にも役に立つはずです。それらの分野と関連づけながら、講義に臨んでください。									

授業科目名	臨床栄養学								
担 当 者	金城 典子/ 大田 なつき/ 比嘉 絵里								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)疾患別の食事療法について学習する。									
(到 達 目 標)発達段階や健康障害に応じた食事療法の基本を理解する。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	病院食 栄養補給法					講義	金城 典子		
2	やせ・肥満患者の食事療法					講義	金城 典子		
3	循環器疾患患者の食事療法					講義	金城 典子		
4	消化器疾患患者の食事療法(胃・腸疾患・下痢・便秘)					講義	金城 典子		
5	消化器疾患患者の食事療法(肝臓・胆嚢・膵臓疾患)					講義	金城 典子		
6	栄養・代謝疾患患者の食事療法(糖尿病)					講義	金城 典子		
7	栄養・代謝疾患患者の食事療法(脂質異常症・高尿酸血症・痛風・がん)の食事療法					講義	金城 典子		
8	腎臓病患者の食事療法					講義	金城 典子		
9	摂食・嚥下障害・低栄養・褥瘡・骨粗鬆症患者の食事療法 在宅療養における栄養管理					講義	金城 典子		
10	血液疾患・食物アレルギー患者の食事療法他					講義	金城 典子		
11	糖尿病患者の食事(調理実習)					演習	金城 典子		
12	糖尿病患者の食事(調理実習)					演習	金城 典子		
13	腎疾患患者の食事(調理実習)					演習	金城 典子		
14	腎疾患患者の食事(調理実習)					演習	金城 典子		
15	試験・解説					講義	金城 典子		
■期末試験 (100) % □提出物 () % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発 表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
人体の構造と機能【3】栄養学			小野章史			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	臨床薬理学								
担当者	盛本 直也								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)薬剤の特徴、作用機序、各系統別疾患の治療における人体への影響及び薬物の取り扱いと管理について学ぶ。 医療安全の観点や協働で行う「臨床推論」の思考過程の中で、看護師の役割を認識し薬物療法を受ける患者の看護につなげる。 (到達目標)薬物の特徴、作用機序、人体への影響及び薬物の管理について理解する。 各系統別疾患の治療における人体への影響及び管理について理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
教科書に沿ってパワーポイントまたは印刷物を用いた講義ならびに 学生が自ら記入する形式の授業(参加型授業) + 課題提出 + 問題演習									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	・法令、薬物の吸収・代謝、薬物の作用					講義	盛本 直也		
2	・医薬品 ・医薬品の作用原理とその影響 ・医薬品の適正な使用に向けて					講義	盛本 直也		
3	・生活習慣病に伴う脳血管障害(急性期) 脳血管障害の薬物療法 頭蓋内圧亢進時の薬物療法					講義	盛本 直也		
4	"					講義	盛本 直也		
5	・精神疾患に用いる薬(向精神薬) ・抗てんかん薬 ・アルツハイマー型認知症治療薬 ・パーキンソン病治療薬					講義	盛本 直也		
6	"					講義	盛本 直也		
7	・細菌感染症 ・ウイルス感染症 ・真菌感染症 ・寄生虫感染症 ・予防薬 ・予防接種薬					講義	盛本 直也		
8	"						盛本 直也		
9	・医薬品投与に使用する薬 ・ショックに対して使用する薬 ・救急カートに必要な薬					講義	盛本 直也		
10	"					講義	盛本 直也		
11	・気管支喘息と薬物療法 ・呼吸器疾患に使用する薬 ・関節リウマチと薬物療法 ・全身性エリテマトーデスと薬物療法					講義	盛本 直也		
12	"					講義	盛本 直也		
13	消化器系疾患に使用する薬の分類と特徴					講義	盛本 直也		
14	"					講義	盛本 直也		
15	試験・解説					講義	盛本 直也		
☒ 期末試験 (75) % ☒ 提出物 (25) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
疾病の成り立ちと回復の促進【3】薬理学 第15版			吉岡充弘			医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
ナースのためのくすりの事典									
イメージできる臨床薬理学									
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅰ								
担 当 者	奥村 耕一郎/ 専任教員/ 熱海 恵理子/ 北原 佑介								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)呼吸器・循環器の形態と機能及び病態をふまえ、主な疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学ぶ。									
(到 達 目 標)呼吸器・循環器疾患の病態、症状、検査、診断、治療について理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	呼吸器の構造・検査					講義	熱海 恵理子		
2	呼吸器疾患の診断と治療① 呼吸器症状からの診断過程					講義	熱海 恵理子		
3	呼吸器疾患の診断と治療② 呼吸器の検査・治療					講義	熱海 恵理子		
4	呼吸器疾患の診断と治療③ 呼吸器疾患の治療					講義	熱海 恵理子		
5	呼吸器疾患各論①					講義	熱海 恵理子		
6	呼吸器疾患各論②					講義	熱海 恵理子		
7	呼吸器疾患各論③					講義	熱海 恵理子		
8	循環器の障害と治療					講義	奥村 耕一郎		
9	循環器疾患の診断と治療① 循環器症状からの診断過程					講義	奥村 耕一郎		
10	循環器疾患の診断と治療② 循環器の検査・治療					講義	奥村 耕一郎		
11	循環器疾患各論① 虚血性心疾患・狭心症・心筋梗塞・心不全					講義	奥村 耕一郎		
12	循環器疾患各論② 血圧異常・血圧異常・不整脈・弁膜症					講義	奥村 耕一郎		
13	循環器疾患各論③ 心膜炎・心筋疾患・肺性心・先天性心疾患					講義	奥村 耕一郎		
14	循環器疾患各論④ 動・静脈系疾患・リンパ系疾患					講義	奥村 耕一郎		
15	筆記試験・解説					講義	専任教員		
☒ 期末試験（100）％ ☐ 提出物（ ）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
成人看護学〔2〕 呼吸器		朝倉 啓介			医学書院				
成人看護学〔3〕 循環器		吉田 俊子			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
トートラ 人体の構造と機能					丸善				
看護 看護形態機能学		菱沼 典子			日本看護協会出版社				
疾病のなりたちと回復の促進〔2〕 病態生理学		土居 健太郎			医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	疾病と治療Ⅱ											
担当者	伊敷 洋平/ 玉城 敦子/ 座間味 亮/ 上原 盛幸/ 新里 勇樹/ 石田 明夫/ 専任教員/ 中山 良朗/ 藤田 次郎											
開講年次	2年		開講期	2年前期		授業回数	15		時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標												
(概要)内分泌、代謝系・消化器・腎尿器の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学ぶ。												
(到達目標)内分泌、代謝系・消化器・腎尿器疾患の病態、症状、検査、診断、治療について理解する。												
履修における注意事項(受講ルールなど)												
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。												
回数	講義内容								方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	代謝疾患①								講義	上原 盛幸		
2	代謝疾患②								講義	本間 健一郎		
3	内分泌疾患①								講義	伊敷 洋平		
4	内分泌疾患②								講義	玉城 敦子		
5	消化器の障害と症状 消化器症状からの診断過程								講義	藤田 次郎		
6	消化器の検査・治療								講義	藤田 次郎		
7	消化器疾患各論①上部消化管疾患								講義	藤田 次郎		
8	消化器疾患各論②下部消化管疾患								講義	藤田 次郎		
9	消化器疾患各論③肝・胆・膵疾患								講義	藤田 次郎		
10	腎疾患の主な検査・治療								講義	座間味 亮		
11	腎疾患の病態、症状、検査、診断、治療 ①急性腎不全②慢性腎不全③慢性腎臓病								講義	新里 勇樹		
12	④全身性疾患による腎障害								講義	座間味 亮		
13	泌尿器疾患の病態、症状、検査、診断、治療①尿路の通過障害と機能障害								講義	崎浜 綾乃		
14	泌尿器疾患の主な検査・治療								講義	崎浜 綾乃		
15	試験・解説								講義	専任教員		
■期末試験(100)% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% □発表()% □その他()()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。												
教科書												
書名				著者				出版社				
成人看護学〔8〕腎・泌尿器								医学書院				
成人看護学〔5〕消化器								医学書院				
参考書												
書名				著者				出版社				
成人看護学〔6〕内分泌・代謝								医学書院				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど) 期末試験配点(内分泌・代謝30点・消化器30点・腎／泌尿器40点)												

授業科目名	疾病と治療Ⅲ									
担当者	時澤 博美/ 小浜 博太/ 上里 忠和/ 新垣 基/ 専任教員/ 知念 柊子/ 仲間 靖/ 仲里 公平/ 比嘉 瞳/ 百次 仁/ 野原 博和									
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)脳神経系・運動器系・女性生殖器の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学ぶ。										
(到達目標)脳神経系・運動器系・女性生殖器の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、症状、検査、診断、治療について理解する。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者			
1	1)脳血管障害(CVD)①クモ膜下出血(SAH) ②脳出血(ICH)					講義	百次 仁			
2	③脳梗塞④一過性脳虚血発作(TIA) 脳腫瘍、頭部外傷					講義	百次 仁			
3	2)脊髄疾患 3)末梢神経障害					講義	比嘉 瞳			
4	4)筋疾患・神経筋接合部疾患①筋ジストロフィー(MD) 5)脱髄・変性疾患 ①多発性硬化症(MS)					講義	比嘉 瞳			
5	6)てんかん 7)認知症					講義	比嘉 瞳			
6	診断・検査と治療・処置					講義	野原 博和			
7	外傷性の運動器疾患 1)骨折 2)脱臼 3)捻挫および打撲 4)神経の損傷 5)筋・腱・靱帯などの損傷					講義	仲間 靖			
8	内因性の運動器疾患 1)先天性疾患 2)骨・関節の炎症性疾患 3)骨腫瘍および軟部腫瘍					講義	小浜 博太			
9	非外傷性の運動器疾患 1)代謝性骨疾患 2)筋及び腱の疾患 3)神経の疾患					講義	仲里 公平			
10	非外傷性の運動器疾患 1)上肢および上肢帯の疾患 2)脊椎の疾患 3)下肢および下肢帯の疾患 4)ロコモ 5)フレイル 6)サルコペニア 7)廃用症候群					講義	新垣 基			
11	子宮の疾患の症状、検査、診断、治療 1)子宮筋腫2)子宮内膜症3)絨毛性疾患					講義	知念 柊子			
12	子宮の疾患の症状、検査、診断、治療 3)子宮がん 卵巣の疾患の症状、検査、診断、治療 1)卵巣がん					講義	上里 忠和			
13	機能的疾患の症状、検査、診断、治療 1)月経異常・月経随伴症状 2)更年期障害 3)不妊症 性感染症の症状、検査、診断、治療					講義	知念 柊子			
14	乳房疾患の症状、検査、診断、治療 1)乳腺症 2)乳がん					講義	時澤 博美			
15	試験・解説					講義	専任教員			
■期末試験(100) % □提出物() % □小テスト() % □実技試験() % □口頭試問() % □発表() % □その他() () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名		著者			出版社					
成人看護学〔7〕脳・神経		井出 隆文			医学書院					
成人看護学〔10〕運動器		田中 栄			医学書院					
参考書										
書名		著者			出版社					
成人看護学〔9〕女性生殖器		末岡 浩			医学書院					
母性看護学〔1〕母性看護学概論		森 恵美			医学書院					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

授業科目名										疾病と治療Ⅳ																																							
担 当 者										宮城 理子/ 宮城 翔/ 宮平 誠司/ 高橋 智佐子/ 森近 一穂/ 専任教員/ 大城 健/ 中島 知/ 北村 紗希子																																							
開 講 年 次					2年					開 講 期					2年前期, 2年後期					授 業 回 数					15					時 間 数					30					単 位 数					1				
授業の概要・到達目標																																																	
(概要)血液・造血器、皮膚・耳鼻咽喉、眼科、歯科口腔の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、主要症状、診察・検査、治療・処置について学習する。																																																	
(到達目標)血液・造血器、皮膚・耳鼻咽喉、眼科、歯科口腔の形態と機能をふまえ、各疾患の病態、主要症状、診察・検査、治療・処置について最新の治療を動向を理解し、セルフケア指導について必要な知識を理解する。																																																	
履修における注意事項（受講ルールなど）																																																	
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。																																																	
回数		講 義 内 容																		方法 (講義・実技・演習)				担当者																									
1		おもな検査・診断 赤血球系の異常																		講義				宮城 理子																									
2		白血球系の異常、出血性疾患																		講義				宮城 翔																									
3		造血器腫瘍①～⑤																		講義				北村 紗希子																									
4		造血器腫瘍⑥～⑨																		講義				中島 知																									
5		皮膚疾患 ①表在性皮膚疾患 ②熱傷 ③皮膚腫瘍および色素異常 ④感染症																		講義				高橋 智佐子																									
6		耳鼻咽喉頭科疾患 ①耳疾患																		講義				屋島 福太郎																									
7		②鼻・咽喉頭疾患																		講義				屋島 福太郎																									
8		眼科疾患 ①結膜・角膜・眼底の疾患 ②緑内障																		講義				宮平 誠司																									
9		歯科口腔疾患																		講義				大城 健																									
10		試験・解説																		講義				専任教員																									
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％□実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発 表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。																																																	
教 科 書																																																	
書 名										著 者										出 版 社																													
成人看護学〔4〕血液・造血器										飯野 京子										医学書院																													
成人看護学〔12〕皮膚										渡辺 晋一										医学書院																													
参 考 書																																																	
書 名										著 者										出 版 社																													
成人看護学〔13〕眼										大鹿 哲郎										医学書院																													
成人看護学〔14〕耳鼻咽喉										小松 浩子										医学書院																													
成人看護学〔15〕歯・口腔										渋谷 絹子										医学書院																													
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）																																																	

授業科目名	疾病と治療Ⅴ								
担当者	堀 美帆/ 専任教員								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	0	時間数	0	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)精神疾患についての基礎知識を深め、差別や偏見が生み出されて生きてきた社会構造や共生社会を実現していくための方策について、精神疾患の特性や環境との関連性から学ぶ。									
(到達目標)差別や偏見が生み出されて生きてきた社会構造や共生社会を実現していくための方策について、精神疾患の特性や環境との関連性を理解する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	精神疾患の理解					講義	堀 美帆		
2	精神疾患の診断と治療・処置					講義	堀 美帆		
3	統合失調症、気分(感情)障害					講義	堀 美帆		
4	神経症障害、ストレス関連障害					講義	堀 美帆		
5	アルコール依存と薬物依存					講義	堀 美帆		
6	器質性精神障害					講義	堀 美帆		
7	睡眠障害					講義	堀 美帆		
8	パーソナリティ障害					講義	堀 美帆		
9	小児・青年期の精神障害					講義	堀 美帆		
10	筆記試験・解説					講義	堀 美帆		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
精神看護学 [1] 精神看護の基礎		武井 麻子			医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
精神看護学 [2] 精神看護の展開		武井 麻子			医学書院				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	疾病と治療Ⅵ									
担当者	専任教員/ 大見 剛/ 知名 耕一郎/ 北原 佑介									
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)・感染症、自己免疫疾患、アレルギー疾患の病態、症状、検査、診断、治療について学ぶ。 ・小児特有な遺伝子病、先天性疾患、伝染性疾患などを中心に疾患について学ぶ。										
(到達目標)感染症、自己免疫疾患、アレルギー疾患の病態、症状、検査、診断、治療について理解する。 小児特有な遺伝子病、先天性疾患、伝染性疾患などを中心に疾患について理解する。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	感染症の診断・治療						講義	北原 佑介		
2	細菌感染症 ①呼吸器感染症 ②細菌性腸炎 抗菌薬感染症						講義	北原 佑介		
3	ウイルス感染症 ①呼吸器感染症 ②発疹・発熱 ③脳炎・髄膜炎 ④血液媒介感染症 ⑤ウイルス性腸炎						講義	北原 佑介		
4	アレルギーの診断・治療 ①アレルギー性鼻炎 ②食物アレルギー ③薬物アレルギー ④職業性アレルギー ⑤アナフィラキシー 膠原病の診断・治療 ①全身性エリテマトーデス						講義	北原 佑介		
5	小児の特性、遺伝・先天性疾患						講義	知名 耕一郎		
6	新生児疾患						講義	知名 耕一郎		
7	循環器疾患						講義	知名 耕一郎		
8	消化器疾患						講義	知名 耕一郎		
9	感染症						講義	知名 耕一郎		
10	腎・泌尿器・生殖器疾患 呼吸器感染症						講義	知名 耕一郎		
11	代謝・内分泌疾患、免疫・アレルギー疾患 血液・悪性腫瘍						講義	知名 耕一郎		
12	血液・造血器疾患 血液・悪性腫瘍						講義	知名 耕一郎		
13	腫瘍性疾患 腎疾患						講義	知名 耕一郎		
14	神経・運動器疾患 てんかん						講義	大見 剛		
15	試験・解説						講義	専任教員		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () %										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者			出版社				
成人看護学 【11】 アレルギー・膠原病・感染症			岩田健太郎、川口鎮司、他			医学書院				
小児臨床看護各論 小児看護学②			奈良間 美保			医学書院				
参考書										
書名			著者			出版社				
トータル人体の構造と機能						丸善株式会社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										
期末試験配点(感染症・自己免疫・アレルギー40点、小児疾患系60点)										

授業科目名	公衆衛生学								
担当者	小林 潤/ 専任教員/ 中村 幸志								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	2
授業の概要・到達目標									
(概要)人間の健康を維持・増進し、さまざまな病気を予防するために必要な基礎知識を学ぶ。									
(到達目標)社会や環境がわたしたち人間の健康に及ぼす影響について知識を深め、人間の健康を維持するために、社会や環境がどうあるべきかについて考える。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	公衆衛生学総論					講義	中村 幸志		
2	疫学1(疫学総論、集団の健康指標、保健統計)					講義	中村 幸志		
3	疫学2(因果関係の分析疫学研究、介入研究)					講義	中村 幸志		
4	生活と疾病(健康を損なうリスク因子)					講義	中村 幸志		
5	地域保健総論、公衆衛生行政					講義	中村 幸志		
6	成人保健(個人と社会による健康づくり)					講義	中村 幸志		
7	高齢者保健・福祉					講義	中村 幸志		
8	社会保障と保険システム					講義	小林 潤		
9	母子保健・少子化					講義	小林 潤		
10	母子保健					講義	小林 潤		
11	学校保健					講義	小林 潤		
12	精神保健					講義	小林 潤		
13	産業保健					講義	小林 潤		
14	国際保健・環境保健					講義	小林 潤		
15	試験・解説					講義	専任教員		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生		神森 征峰			医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
国民衛生の動向					厚生統計協会				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野

基礎看護学

授業科目名 看護倫理									
担 当 者 津嘉山 みどり/ 専任教員									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 1年次で学んだ倫理学の基礎的知識に基づき、看護実践における倫理的側面を認識し、1つ1つの看護行為の何がよりよい看護につながるのかを具体的に考察する。看護ケアを受けての意思決定を尊重し、支援するためのプロセスを事例を通して学ぶ。また、看護職としての責務を自覚し、意思決定をする上で必要な関係法規やガイドラインの重要性と倫理的な思考を学ぶ。 (到 達 目 標) 1.看護における倫理の原則を理解することができる。 2.現代医療における倫理的諸問題、臨床看護場面における倫理、医療者と患者および家族との関係に関する学習を深め、看護専門職としての役割を理解することができる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
事前課題のある場合には、課題を確実にを行い、授業に臨むこと。 積極的にグループワークに参加すること。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	倫理的意思決定のプロセスと看護職の役割					講義	津嘉山 みどり		
2	高齢者看護と倫理的課題(意思決定を支える看護職の役割と責務)					講義	津嘉山 みどり		
3	高齢者看護と倫理的課題(意思決定を支える看護職の役割と責務)					講義・演習	津嘉山 みどり		
4	小児看護と倫理的課題					講義	津嘉山 みどり		
5	小児看護と倫理的課題					講義・演習	津嘉山 みどり		
6	母性看護と倫理的課題					講義	津嘉山 みどり		
7	母性看護と倫理的課題					講義・演習	津嘉山 みどり		
8	精神科看護と倫理的課題					講義	津嘉山 みどり		
9	精神科看護と倫理的課題					講義・演習	津嘉山 みどり		
10	人生の最終段階における倫理的課題					講義	津嘉山 みどり		
11	人生の最終段階における倫理的課題					講義・演習	津嘉山 みどり		
12	地域看護と倫理的課題					講義	津嘉山 みどり		
13	地域看護と倫理的課題					講義・演習	津嘉山 みどり		
14	倫理と医療事故、倫理と災害看護、まとめ					講義	津嘉山 みどり		
15	試験・解説					講義	津嘉山 みどり		
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発 表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
看護倫理		宮坂 道夫			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	臨床看護総論									
担当者	栗國 美由紀/ 伊藤 義則/ 伊波 翔吾/ 翁長 繁孝/ 新垣 匡史/ 大城 章人									
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)臨床の場における対象のニーズを理解し、対象の健康状態に応じた看護を学ぶ。										
(到達目標)1. 健康状態の経過に基づく看護を理解する。 2. 主要な症状を示す対象者への看護を理解する。 3. 対象者の生命の安全を確保するために、一次救命処置に関する知識と技術を理解する。 4. 医療用機器の原理と取り扱い上の注意点を理解する。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
※提出物の提出期限を遵守すること。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者			
1	臨床看護とは 臨床看護の対象者と臨床看護の場と経過別に見た対象と看護の特徴 1. 臨床という場の特徴					講義	栗國 美由紀			
2	2. 経過別看護の特徴(予防医療、急性期看護から終末期看護へ) 3. 経過別に見た対象の看護と特徴 1-1)事例Aさんの情報整理					講義・演習	栗國 美由紀			
3	経過別に見た対象の特徴と看護 1-2)事例Aさんの看護問題と具体策					講義・演習	栗國 美由紀			
4	経過別に見た対象の特徴と看護 1-3)健康期・急性期の看護の特徴と役割(発表) 検査・治療時の看護					講義・演習	栗國 美由紀			
5	経過別に見た対象の特徴と看護 1-4)慢性期・終末期の看護の特徴と役割(発表)					講義・演習	栗國 美由紀			
6	4. 経過別看護の特徴(急性期から在宅看護へ) 経過別に見た対象の特徴と看護 2-1)事例Bさんの情報収集					講義・演習	栗國 美由紀			
7	経過別に見た対象の特徴と看護 2-2)事例Bさんの看護問題と具体策					講義・演習	栗國 美由紀			
8	経過別に見た対象の特徴と看護 2-3)健康期・急性期の看護の特徴と役割(発表)					講義・演習	栗國 美由紀			
9	経過別に見た対象の特徴と看護 2-4)慢性期・終末期(在宅医療)の特徴と役割(発表)					講義・演習	栗國 美由紀			
10	5. 病期別理論家を通して看護を考える					講義	伊藤 義則			
11	1)看護モデルと理論の発達					講義	伊藤 義則			
12	2)理論と看護のリンケージ					講義	伊藤 義則			
13	5. 救急看護 医療機器の原理と取り扱い上の注意点					講義	伊波 翔吾			
14	演習① 救急蘇生法の実際					演習	伊波 翔吾			
15	演習② AEDの取り扱い					演習	伊波 翔吾			
☐ 期末試験 () % ■提出物 (60) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ■発表 (20) % ■その他 (演習参加状況) (20) %										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者			出版社				
臨床看護総論 基礎看護学④			香春 知永			医学書院				
看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント			高木 永子			学研				
参考書										
書名			著者			出版社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

地域・在宅看護論

授業科目名	地域・在宅看護援助論Ⅰ								
担当者	吉田 知美/ 瀬底 世津子/ 非常勤講師/ 浜本 強/ 當山 春奈/ 非常勤講師								
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	8	時間数	16	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)在宅看護の対象者を身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的な側面から捉えることで、療養者の強みを見出す方法を学ぶ。さらに病気や障がいを抱えながらも、その人らしく最期まで在宅療養を継続するための生き抜く力を支援する方法を考える。 (到達目標)各療養者およびその家族の身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的な側面から捉えることができる。 ・病気や障がいを抱えながらも、その人らしく最期まで在宅療養を継続するための生き抜く力を支援する方法を考えることができる。 ・在宅療養者に関わる多職種連携の役割を理解することができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
課題学習は指定された内容や指定用紙、提出期日を守って提出する。 ・全員が理解できるように、学習内容で難しい言葉などは、自己学習や質問を行い、全員が理解できるように進める。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
	慢性閉塞性肺疾患療養者の理解と在宅看護の特徴					講義	吉田 知美		
	認知症のある在宅看護の特徴					講義	吉田 知美		
	在宅療養児と家族の理解と在宅看護の特徴					講義	當山 春奈		
	精神障害のある在宅看護の特徴					講義	吉田 知美		
	精神障害を持つ療養者の家族の理解と実際					講義	浜本 強		
	終末期にある在宅看護の特徴、癌治療中の療養者の理解と在宅看護の特徴					講義	瀬底 世津子		
	難病のある在宅看護の特徴					講義	非常勤講師		
	試験および振り返り					講義	吉田 知美		
■期末試験 (50) % ■提出物 (50) % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者			出版社				
『地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2』		河原 加代子 代表			医学書院				
『地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1』		河原 加代子 代表			医学書院				
参考書									
書名		著者			出版社				
『基礎からわかる地域・在宅看護論』		池西 静江 編著			照林社				
新訂版『写真でわかる訪問看護 アドバンス』		押川 真喜子			インターメディカ				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	地域・在宅看護援助論Ⅱ								
担 当 者	伊芸 航/ 伊佐 美幸/ 羽鳥 訓秀/ 下里 わかな/ 吉田 知美/ 玉城 良弘/ 松岡 太郎/ 松田 竹央/ 照喜名								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 在宅療養者とその家族を支える継続看護と多職種協働によるネットワークの構築および各専門職種の役割について学ぶ。									
(到 達 目 標)・療養者およびその家族を支える多職種連携の必要性について理解することができる。 ・在宅療養者に関わる多職種の役割と連携の実際を知る。									
履修における注意事項 (受講ルールなど)									
・課題学習は指定された内容や指定用紙、提出期日を守って提出する。 ・全員が理解できるように、学習内容で難しい言葉などは、自己学習や質問を行い、全員が理解できるように進める。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	在宅療養者を支える多職種連携の必要性和在宅看護の役割について理解する。					講義	松田 竹央		
2	障がいを持ちながら在宅療養を続ける療養者とその家族を支える理学療法士					講義	松岡 太郎		
3	障がいを持ちながら在宅療養を続ける療養者とその家族を支える作業療法士					講義	下里 わかな		
4	在宅療養している認知症の療養者とその家族の生活を支える認知症サポーター					講義	非常勤講師		
5	難病で暮らす在宅療養者の生活を支援する相談員					講義	照喜名 通		
6	障害のある在宅療養児と家族を支える医療と看護 その1					講義	伊芸 航		
7	障害のある在宅療養児と家族を支える医療と看護 その2					講義	伊芸 航		
8	試験と振り返り					講義	吉田 知美		
■期末試験 (30) % ■提出物 (70) % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発 表 () % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
『地域・在宅看護の基盤 地域・在宅看護論1』			河原 加代子			医学書院			
『地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論2』			河原 加代子			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
『基礎からわかる地域・在宅看護論』			池西 静江 編著			照林社			
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	地域・在宅看護方法論								
担 当 者	栗國 美由紀/ 吉田 知美/ 池原 直子/ 辻野 美嘉/ 嶺井 良恵								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)事例を通して、在宅における看護展開の方法を学ぶ。また在宅療養者への看護技術を提供するために必要な知識を得る。さらにその知識を深め、在宅療養者及びその家族が安心・安全・安楽な療養生活を送るための教育支援技術を学ぶ。									
(到 達 目 標)・事例を通して、地域・在宅における看護展開することができる。 ・在宅療養者及びその家族が安心・安全・安楽な療養生活を送るための教育支援を実施することができる。 ・在宅療養者への看護技術を提供するために必要な知識を得ることができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
・課題学習は指定された内容や指定用紙、提出期日を守って提出する。 ・全員が理解できるように、学習内容で難しい言葉などは、自己学習や質問を行い、全員が理解できるように進める。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者		
1	地域・在宅看護展開 1)地域・在宅看護展開の特徴 2)授業の進め方及び評価の説明 3)事例に関して ①情報収集 ②アセスメント					講義	吉田 知美		
2	地域・在宅看護展開 3)事例に関して ③目標設定 ④問題・課題の抽出					講義	吉田 知美		
3	地域・在宅看護展開 ・関連図発表(優先順位の決定、問題の明確化)					講義	吉田 知美		
4	地域・在宅看護展開 ⑤ビジョン・ゴールの設定 ⑥看護計画立案					講義	吉田 知美		
5	地域・在宅看護展開：看護計画発表					講義・演習	吉田 知美		
6	地域・在宅看護展開 ⑦教育支援の計画					演習	吉田 知美		
7	地域・在宅看護展開 ⑧教育支援の方法					講義	吉田 知美		
8	在宅看護技術技術演習(気管吸引、褥瘡ケア、排便、マッサージ、ポジショニング)					演習	栗國 美由紀/ 吉田 知美/ 池原 直子/ 辻野 美嘉/ 嶺井 良恵		
9	在宅看護技術技術演習(気管吸引、褥瘡ケア、排便、マッサージ、ポジショニング)					演習	栗國 美由紀/ 吉田 知美/ 池原 直子/ 辻野 美嘉/ 嶺井 良恵		
10	在宅療養者の生活援助技術①					講義	栗國 美由紀		
11	在宅療養者の生活援助技術②					講義	栗國 美由紀		
12	在宅療養者の生活援助技術③					講義	栗國 美由紀		
13	在宅療養者の医療処置技術①					講義	栗國 美由紀		
14	在宅療養者の医療処置技術②					講義・演習	栗國 美由紀		
15	在宅療養者の医療処置技術③					講義・演習	栗國 美由紀		
☐ 期末試験 () % ■提出物 (100) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試験 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
『地域・在宅看護の実践』地域・在宅看護論 2		河原 加代子 他			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
『基礎からわかる地域・在宅看護論』		池西 静江			照林社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

成人看護学

授業科目名	成人看護学援助論Ⅰ									
担当者	金城 綾子/ 山内 由梨香/ 専任教員/ 比嘉 祥之/ 非常勤講師									
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)急性期看護の対象となる人とその家族の身体的・心理的・社会的状況を学び、急性期看護の基礎となる知識と技術、態度を身につける。										
(到達目標)・周手術期にある患者の特徴を理解し、手術療法の基礎的知識と回復過程に沿った看護について理解できる。 ・救急・集中治療について理解し、救急看護、集中治療下の看護を必要とする対象及び家族への看護を理解できる。 ・脳神経疾患看護の特徴と急性期の看護を理解できる。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
周手術期看護、救急・ICU看護、脳神経疾患看護を合わせて1単位とする。 各単元3分の2以上の出席を以て教科の受験資格とする。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	・周手術期看護とは ・周手術期にある患者とその家族の特徴						講義	金城 綾子		
2	手術前期の看護						講義	金城 綾子		
3	手術期の看護						講義	金城 綾子		
4	手術後期の看護、退院に向けた指導・支援						講義	金城 綾子		
5	・事例で考える周手術期看護						講義	金城 綾子		
6	救急看護 ・救急医療の現状 ・救急医療における看護						講義	比嘉 祥之		
7	救急看護の実際						講義	比嘉 祥之		
8	救急救命処置一心肺蘇生と生命維持						講義	比嘉 祥之		
9	・集中治療の現状 ・集中治療における看護						講義	比嘉 祥之		
10	・集中治療下での看護の実際						講義	比嘉 祥之		
11	脳神経疾患看護 ・脳神経疾患看護の特徴と看護①						講義	山内 由梨香		
12	・脳神経疾患看護の特徴と看護②						講義	山内 由梨香		
13	・事例で考える脳神経疾患看護1						講義	山内 由梨香		
14	・事例で考える脳神経疾患看護2						講義	山内 由梨香		
15	試験・解説							専任教員		
■期末試験(100)％ □提出物()％ □小テスト()％ □実技試験()％ □口頭試験()％ □発表()％ □その他()()％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名		著者				出版社				
系統看護学講座 臨床外科総論						医学書院				
系統看護学講座 救急看護						医学書院				
参考書										
書名		著者				出版社				
系統看護学講座 クリティカルケア看護学						医学書院				
成人看護学 7脳神経疾患						医学書院				
写真でわかる フィジカルアセスメント						インターメディカ				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

授業科目名 成人看護学援助論Ⅱ				
担 当 者 宮城 篤/ 町田 百合子/ 内間 幸人/ 三浦 タ香				
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期	授 業 回 数 15 時 間 数 30 単 位 数 1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標				
(概 要) 疾患とともに生活する人を理解し、その人を支える看護の考え方を深め、看護実践に必要な基礎知識、フィジカルアセスメント、援助の基本を学ぶ。				
(到 達 目 標) ・循環器障害のある人の特徴と看護実践に必要な知識と援助の基本を身につける。 ・呼吸器障害のある人の特徴と看護実践に必要な知識と援助の基本を身につける。 ・運動器疾患のある人の特徴と、看護実践に必要な知識と援助の基本を身につける。				
履修における注意事項 (受講ルールなど)				
各単元3分の2以上の出席を以って教科の受験資格とする。演習参加を以って受験資格とする。				
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。				
回数	講 義 内 容	方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者	
1	循環器障害のある人の看護 ①循環器の構造と機能 ②おもな症状と検査	講義	宮城 篤	
2	③循環器におけるフィジカルアセスメント	講義	宮城 篤	
3	④疾患別のおもな症状と看護1	講義	宮城 篤	
4	⑤疾患別のおもな症状と看護2	講義	宮城 篤	
5	⑥疾患別のおもな症状と看護3	講義	宮城 篤	
6	呼吸器疾患のある人の看護 ①疾患を持つ患者の経過と看護 ②症状に対する看護	講義	内間 幸人	
7	③検査を受ける患者の看護	講義	内間 幸人	
8	④治療処置を受ける患者の看護	講義	内間 幸人	
9	⑤事例で考える呼吸器疾患患者の看護	講義	内間 幸人	
10	⑥事例で考える呼吸器疾患患者の看護	講義	内間 幸人	
11	運動器の疾患・障害ある人の看護 ①主な症状とアセスメント ②症状に応じた看護	講義	町田 百合子	
12	③けん引療法を受ける患者の看護1	講義	町田 百合子	
13	③けん引療法を受ける患者の看護2	演習	町田 百合子	
14	④手術療法を受ける患者の看護	講義	町田 百合子	
15	試験・解説			
☒ 期末試験 (90) % ☒ 提出物 (10) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。				
教 科 書				
書 名		著 者	出 版 社	
成人看護学2 呼吸器			医学書院	
成人看護学3 循環器			医学書院	
参 考 書				
書 名		著 者	出 版 社	
成人看護学10 運動器			医学書院	
写真でわかる フィジカルアセスメントアドバンス			インターメディカ	
写真でわかる 臨床看護技術①、②			インターメディカ	
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)				

授業科目名	成人看護学援助論Ⅲ									
担当者	伊藤 義則/ 井上 毅士/ 宮城 貴子/ 山里 由香利/ 内間 幸人/ 嶺井 良恵/ 祝嶺 好輝									
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)疾患の急性期から慢性期に至る経過を理解し、慢性疾患とともに生活する人を理解し、その人を支える慢性期看護の考え方を深め、看護実践に必要な基礎知識、援助の基本を学ぶ。										
(到達目標)・消化器疾患のある人の特徴と看護実践に必要な知識と援助の基本を身につける。 ・内分泌・代謝疾患のある人の特徴と看護実践に必要な知識と援助の基本を身につける。 ・腎・泌尿器疾患のある人の特徴と看護実践に必要な知識と援助の基本を身につける。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
各単元3分の2以上の出席を以て教科の受験資格とする。発表・演習参加を以て受験資格とする。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者			
1	①消化器疾患を持つ患者の経過と看護 症状に対する看護					講義	井上 毅士			
2	②検査を受ける患者の看護					講義	井上 毅士			
3	③外科的治療を受ける患者の看護					講義	井上 毅士			
4	④ストーマ造設術の術前・術後・回復期の看護					講義	井上 毅士			
5	⑤消化器症状とフィジカルアセスメント					講義・演習	嶺井 良恵/ 井上 毅士			
6	⑥内科的治療を受ける患者の看護					講義	井上 毅士			
7	内分泌・代謝疾患を持つ患者の経過と看護 ①糖尿病のある人とその家族への援助					講義	内間 幸人			
8	②脂質異常症のある人とその家族への援助					講義	内間 幸人			
9	③甲状腺機能障害のある人とその家族への援助					講義	内間 幸人			
10	④血糖調節機能障害を有する人のアセスメント					講義	山里 由香利			
11	腎・泌尿器疾患を持つ患者の経過と看護 ①慢性腎不全(慢性腎臓病)のある人とその家族への援助					講義	宮城 貴子			
12	②透析療法を受ける人とその家族の看護					講義	宮城 貴子			
13	③前立腺がんのある人とその家族への援助					講義	宮城 貴子			
14	④腎機能低下のある人のアセスメント					講義	宮城 貴子			
15	試験・解説					講義	専任教員			
☒ 期末試験 (90) % ☒ 提出物 (10) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名		著者			出版社					
成人看護学 5 消化器疾患					医学書院					
成人看護学 6 内分泌・代謝疾患					医学書院					
参考書										
書名		著者			出版社					
成人看護学 8 腎・泌尿器疾患					医学書院					
写真でわかる フィジカルアセスメント					インターメディカ					
写真でわかる 臨床看護技術①、②					インターメディカ					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

授業科目名	成人看護学援助論Ⅳ									
担 当 者	伊藤 義則/ 加藤 美月/ 金城 恵/ 古謝 美智子/ 狩俣 勇斗/ 専任教員/ 非常勤講師/ 宇地原 大海									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)がんとともに生活する人を理解し、その人を支えるがん看護の考え方を深め、看護実践に必要な基礎知識、援助の基本を学ぶ。 事例を通してがん看護、緩和ケアの支援を学ぶ。										
(到達目標)・がん治療を受ける患者の特徴とその家族への援助を理解できる ・緩和ケアの基盤となる考え方を知り、その実践方法を身につける。 ・血液・造血器疾患のある人の特徴と看護実践に必要な知識と援助の基本を身につける。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
がん看護、緩和ケア、血液・造血器疾患のある人の看護を合わせて1単位とする。 各単元3分の2以上の出席を以って教科の受験資格とする。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	がん医療の現状と看護						講義	狩俣 勇斗		
2	がん患者の看護①						講義	狩俣 勇斗		
3	がん患者の看護②						講義	狩俣 勇斗		
4	がん患者の看護③						講義	狩俣 勇斗		
5	がん患者の看護④						講義	狩俣 勇斗		
6	がん患者の看護⑤						講義	宇地原 大海		
7	がん患者の看護⑥						講義	宇地原 大海		
8	がん患者の看護⑦						講義	宇地原 大海		
9	血液・造血器がんのある人の看護 ①白血病のある人とその家族への援助①						講義	伊藤 義則		
11	②白血病のある人とその家族への援助②						講義	伊藤 義則		
12	緩和ケア ①緩和ケアとは 緩和ケアの基盤となる考え方						講義	金城 恵		
13	②緩和ケアの実践方法						講義	金城 恵		
14	③看取りのケア						講義	金城 恵		
15	④事例で学ぶ緩和ケアの実践							金城 恵		
	試験・解説							専任教員		
■期末試験(100)% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試験()% □発表()% □その他()()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教 科 書										
書 名			著 者			出 版 社				
系統看護学講座別巻 がん看護						医学書院				
系統看護学講座別巻 緩和ケア						医学書院				
参 考 書										
書 名			著 者			出 版 社				
成人看護学4 血液造血器疾患						医学書院				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										
教科書3:成人看護学 慢性期看護 改訂第3版 鈴木 久美 筑持 智恵子 佐藤 直美 南江堂										
各疾患について事前学習をしておくこと 基礎看護学で学んだ技術を活用しより深く観察すること、患者の状態がどうなるのか予測すること、そのうえでどんな看護が必要になるのか考える力をつけましょう										

授業科目名		成人看護学方法論								
担 当 者		三浦 夕香/ 青野 健治/ 前川 正樹/ 嶺井 良恵/ 非常勤講師								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期		授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標										
(概 要)現場で求められる臨床看護技術を学び、看護実践能力の向上をはかる。										
(到 達 目 標)・重症患者の日常生活援助技術を身につける ・慢性期のセルフモニタリング・セルフケア教育支援に必要な技術を身につける。 ・周手術期における術前の看護技術、術後の看護技術について学び、その方法を理解する。 ・臨床現場における電子カルテを活用した情報収集の基本的な手順・注意点を学び、情報のアセスメントが理解できる。										
履修における注意事項（受講ルールなど）										
事前学習をして参加すること 各単元3分の2以上の出席および発表・演習参加、提出課題で評価する。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	成人看護学方法論 授業オリエンテーション 気道浄化を促す技術 ・ネブライザー・体位ドレナージ法 ・口腔・鼻腔・気管内吸引 ・気管挿管中の口腔ケア方法						講義	嶺井 良恵		
2	人工呼吸器について(NPPV・IPPV)取り扱いと注意点						講義	前川 正樹		
3	呼吸理学療法(用手呼吸介助)						講義・演習	青野 健治		
4	演習:口腔・鼻腔・気管内吸引						演習	嶺井 良恵		
5	演習:気管挿管中の口腔ケア方法						演習	嶺井 良恵		
6	慢性疾患を有する患者の援助技術(課題提示) ・血糖測定 ・検尿 ・ストーマケア ・持続導尿技術・経管栄養挿入技術						講義	嶺井 良恵		
7	演習:血糖測定(模擬血液)・経管栄養挿入技術						演習	三浦 夕香/ 嶺井 良恵		
8	演習:ストーマケア						演習	三浦 夕香/ 嶺井 良恵		
9	演習:持続導尿技術						演習	三浦 夕香/ 嶺井 良恵		
10	電子カルテの活用方法について 事例から情報収集をする。(MediEYE)						講義・演習	嶺井 良恵		
11	情報のアセスメント(情報の整理と分析)と看護判断 電子カルテから情報収集し患者の状況についてアセスメントする。						演習	嶺井 良恵		
12	周術期の看護技術 ・術前オリエンテーション 呼吸訓練 術野の清潔ケア 栄養管理 ・術後ベッド療養環境調整 体温調整技術 循環管理 呼吸管理 疼痛管理 ・創・ドレーン管理 離床支援						講義	嶺井 良恵		
13	演習:輸液ポンプ/シリンジポンプの取り扱い /輸液中の患者の寝衣交換						演習	三浦 夕香/ 嶺井 良恵		
14	演習:術前オリエンテーション 術直前の患者の準備						演習	嶺井 良恵/ 非常勤講師		
15	演習:術後ベッド療養環境調整/循環管理/創・ドレーン管理/離床支援						演習	嶺井 良恵/ 非常勤講師		
□期末試験 () % ■提出物 (100) % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % □発 表 () % □その他 () () %										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教 科 書										
書 名			著 者			出 版 社				
臨床外科看護総論			池上徹、高橋則子ほか			医学書院				
写真でわかる臨床看護技術1・2			本庄恵子			インターメディカ				
参 考 書										
書 名			著 者			出 版 社				
基礎看護技術Ⅱ			任 和子			医学書院				
周術期看護			中村 美和子			インターメディカ				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）										
臨床の場で求められる看護実践に必要な専門技術を学びます。 この教科では、技術の修得を中心に授業がありますので、事前学習は必須となります。										

老年看護学

授業科目名	老年看護学援助論Ⅰ								
担 当 者	嘉数 世利子/ 宮城 孝徳/ 砂川 昌信/ 照屋 智恵/ 上原 八穂/ 大城 清貴								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)高齢者の加齢に伴う生理的・病的変化について理解し、生活を支える看護技術について学ぶ。									
(到 達 目 標)1. 加齢変化をふまへ高齢者をアセスメントする基本的視点を理解する。 2. 高齢者特有の認知症高齢者の看護についてわかる。 3. 高齢者のくらしを支える援助を修得する。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
原則として、演習は必ず出席すること。やむを得ず欠席する際は、事前に担当教員に相談すること。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	高齢者の加齢変化とアセスメントの方法					講義	照屋 智恵		
2	高齢者の生活機能を整える看護の展開 1)日常生活を支える基本動作と看護ケア					講義	照屋 智恵		
3	2)転倒・廃用症候群の予防と看護ケア					講義	照屋 智恵		
4	3)排泄と看護ケア					講義	上原 八穂		
5	4)清潔と看護ケア					講義	上原 八穂		
6	5)生活リズムと看護ケア					講義	上原 八穂		
7	6)コミュニケーションと看護ケア					講義	大城 清貴		
8	高齢者における口腔内の変調と看護ケア					講義	大城 清貴		
9	認知症高齢者の看護①					講義	嘉数 世利子		
10	認知症高齢者の看護②					講義	嘉数 世利子		
11	老年期におけるリハビリテーション 移乗・移動介助方法の基本 「車椅子移乗移動動作」「杖歩行」 関節可動域訓練の実践					講義・演習	砂川 昌信		
12	老年期におけるリハビリテーション 移乗・移動介助方法の基本 「車椅子移乗移動動作」「杖歩行」 関節可動域訓練の実践					講義・演習	砂川 昌信		
13	日常生活援助技術 1)義歯の装着と洗浄 2)腰背部の温電法、腹部マッサージ 3)排便					演習	宮城 孝徳/ 上原 八穂		
14	日常生活援助技術 1)義歯の装着と洗浄 2)腰背部の温電法、腹部マッサージ 3)排便					演習	宮城 孝徳/ 上原 八穂		
15	試験・解説					試験	嘉数 世利子/ 砂川 昌信/ 上原 八穂/ 大城 清貴		
☒ 期末試験 (90) % ☒ 提出物 (10) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
老年看護			北川 公子 他			医学書院			
看護学テキスト 老年看護学技術			真田弘美・正木治恵			南江堂			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
高齢者ケアアドバンス			古田愛子			インターメディカ			
写真でわかる 看護のためのフィジカル アセスメントアドバンス			守田美奈子			インターメディカ			
生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図			山田律子			医学書院			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名 老年看護学援助論Ⅱ									
担 当 者 宮城 孝徳/ 照屋 智恵/ 大城 清貴/ 池端 良太/ 上原 八穂									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)(概 要)加齢に伴う健康問題および健康障害をもつ高齢者を理解し、老年看護の実践について学ぶ									
(到 達 目 標)老年期に多くみられる疾患をもつ高齢者を理解し、エンドオブライフを迎えようとしている視点まで、多様な方向から看護実践を修得する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
原則として、演習は必ず出席すること。やむを得ず欠席する際は、事前に担当教員に相談すること。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	高齢者に特徴的な症状と看護：脱水と浮腫の看護					講義	池端 良太		
2	高齢者に特徴的な症状と看護 3)循環器系の疾患：心不全・動脈硬化・高血圧					講義	池端 良太		
3	高齢者に特徴的な症状と看護 2)感染症：インフルエンザ・感染性胃腸炎					講義	池端 良太		
4	検査・手術を受ける高齢者への看護 薬物療法を受ける高齢者への看護					講義	池端 良太		
5	高齢者に特徴的な症状と看護：掻痒、皮膚疾患（褥瘡・疥癬・白癬）					講義	照屋 智恵		
6	高齢者に特徴的な症状と看護 1)運動器疾患：骨粗鬆症・変形性膝関節症・リウマチ					講義	照屋 智恵		
7	摂食嚥下機能と食事、栄養ケアマネジメント 高齢者の日常生活援助：「摂食嚥下ケア」					講義	大城 清貴		
8	摂食嚥下機能と食事、栄養ケアマネジメント 高齢者の日常生活援助：「摂食嚥下ケア」					講義	大城 清貴		
9	摂食嚥下ケア ①低栄養アセスメント ②口腔ケア ③安全な体位と食事介助方法					演習	大城 清貴/ 池端 良太		
10	摂食嚥下ケア ①低栄養アセスメント ②口腔ケア ③安全な体位と食事介助方法					演習	大城 清貴/ 池端 良太		
11	高齢者に特徴的な症状と看護 4)感覚器疾患：白内障・緑内障					講義	照屋 智恵		
12	高齢者のエンドオブライフを支える看護ケア 1)様々な場での看取り					講義	照屋 智恵		
13	高齢者のエンドオブライフを支える看護ケア 2)エンゼルケア					演習	照屋 智恵		
14	高齢者のエンドオブライフを支える看護ケア 2)エンゼルケア					演習	照屋 智恵		
15	試験・解説					試験	照屋 智恵/ 池端 良太		
☒ 期末試験（80）％ ☒ 提出物（20）％ ☐ 小テスト（ ）％ ☐ 実技試験（ ）％ ☐ 口頭試問（ ）％ ☐ 発 表（ ）％ ☐ その他（ ）（ ）％									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
老年看護学技術		北川 公子 他			医学書院				
老年看護学テキスト 老年看護学技術		古田 愛子編著			南江堂				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
高齢者ケアアドバンス		古田愛子			インターメディカ				
写真でわかる 看護のためのフィジカル アセスメントアドバンス		守田美奈子			インターメディカ				
生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図		山田律子			医学書院				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

小児看護学

授業科目名 小児看護学援助論Ⅰ			
担 当 者 翁長 多代子/ 屋宜 佳成/ 加藤 美月/ 宜保 真由美/ 新垣 利奈/ 大住 力/ 比嘉 貴子/ 木村 剛士/ 山川			
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期, 2年後期
授 業 回 数	15	時 間 数	30
単 位 数	1		
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標			
(概 要)健康障害をもつ小児と家族について理解し、症状アセスメント・発達段階に応じた援助の方法を学ぶ。 さまざまな状況にある小児と家族について理解し、その援助方法を学ぶ。			
(到 達 目 標)健康障害をもつ小児と家族の看護について理解できる。 さまざまな状況にある小児と家族の看護について理解できる。			
履修における注意事項（受講ルールなど）			
グループワークは積極的に参加し、提出物の期限は守ること。			
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。			
回数	講 義 内 容	方 法 (講義・実技・演習)	担当者
1	急性期にある子どもと家族への援助 ・発熱時のアセスメントと看護 ・発疹時のアセスメントと看護 ・痙攣時のアセスメントと看護	講義	山川 貴史
2	・嘔吐・下痢時のアセスメントと看護 ・脱水時のアセスメントと看護	講義	山川 貴史
3	・呼吸困難時のアセスメントと看護 ・疼痛時のアセスメントと看護	講義	山川 貴史
4	手術を受ける子どもと家族への看護	講義	翁長 多代子
5	感染症をもつ子どもと家族への看護	講義	山川 貴史
6	慢性期にある子どもと家族への看護	講義	宜保 真由美
7	終末期にある子どもと家族への看護	講義	屋宜 佳成
8	救急における子どもと家族への看護	講義	宜保 真由美
9	心身障害のある子どもと家族への看護	講義	比嘉 貴子
10	ハイリスク新生児と家族への看護	講義	新垣 利奈
11	先天的な健康問題をもつ子どもと家族への看護	講義	大住 力
12	アレルギーをもつ子どもと家族への看護	講義	宜保 真由美
13	外来における子どもと家族への看護	講義	加藤 美月
14	入院における子どもと家族への看護	講義	加藤 美月
15	試験・解説		翁長 多代子/ 加藤 美月
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。			
教 科 書			
書 名	著 者	出 版 社	
小児看護学概論 小児臨床看護総論		医学書院	
参 考 書			
書 名	著 者	出 版 社	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）			

授業科目名	小児看護学援助論Ⅱ								
担 当 者	加藤 美月/ 木村 剛士								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)小児看護の展開方法を学ぶ									
(到 達 目 標)事例を通して小児看護の方法について理解することができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
提出物厳守									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	小児看護の展開 1)事例の特徴 ①情報収集					講義・演習	加藤 美月		
2	1)事例の特徴 ①情報収集・整理					講義・演習	加藤 美月		
3	1)事例の特徴 ②アセスメント					講義・演習	加藤 美月		
4	③問題の明確化(関連図)					演習	加藤 美月		
5	③問題の明確化(関連図) ④ビジョンゴール					演習	加藤 美月		
6	⑤援助計画立案					演習	木村 剛士		
7	⑥援助の実際					演習	木村 剛士		
8	⑥援助の実際					演習	木村 剛士		
☐ 期末試験 () % ■提出物 (90) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (出席・授業態度) (10) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
小児臨床看護学各論						医学書院			
小児概論・小児臨床総論						医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
小児看護過程 第2版			荃津智子			医歯薬出版株式会社			
発達段階からみた小児看護過程 第4版			浅野みどり			医学書院			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

授業科目名	小児看護学方法論								
担 当 者	加藤 美月/ 木村 剛士								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授業の概要・到達目標 (概要)小児看護の基本的技術を学ぶ。									
(到達目標)小児看護における看護技術を習得することができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど) 提出物の期限は遵守すること。演習は必ず参加する。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	1. 援助関係を形成する技術 ①子ども・家族と援助関係を形成する技術					講義	木村 剛士		
2	2. プレパレーション					講義	加藤 美月		
3	3. 症状・生体機能の管理技術 ①バイタルサイン測定 ②全身状態の把握					講義	木村 剛士		
4	③ 身体計測					講義	木村 剛士		
5	3. 症状・生体機能の管理技術 ①バイタルサイン測定 ②全身状態の把握					演習	加藤 美月/ 木村 剛士		
6	③ 身体計測					演習	加藤 美月/ 木村 剛士		
7	④ 骨髄穿刺・腰椎穿刺 ⑤ 抑制(人権を尊重する看護)					講義	加藤 美月		
8	⑥採血 ⑦採尿					講義・演習	加藤 美月		
9	4. 与薬に関する基礎知識(経口与薬、座薬、浣腸、輸液管理)					講義	加藤 美月		
10	4. 与薬に関する基礎知識(経口与薬、座薬、浣腸)					演習	加藤 美月		
11	⑥採血 4. 与薬に関する基礎知識(輸液管理)					演習	加藤 美月		
12	5. 呼吸を整える援助(吸入、吸引、酸素療法)					講義	加藤 美月		
13	5. 呼吸を整える援助(吸入、吸引、酸素療法)					演習	加藤 美月		
14	事例を用いた技術演習					演習	加藤 美月		
15	試験・解説						加藤 美月/ 木村 剛士		
☒ 期末試験 (50) % ☒ 提出物 (40) % ☐ 小テスト () % ☒ 実技試験 (10) % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
小児看護学概論・小児臨床看護各論		奈良間美保			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
写真でわかる小児看護技術					インターメディカ				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

母性看護学

授業科目名	母性看護学方法論Ⅰ									
担当者	少貳 夕起子/ 非常勤講師/ 専任教員									
開講年次	2年	開講期	2年前期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1	
授業の概要・到達目標										
(概要)・妊娠期における妊婦の身体的・心理的・社会的変化を学び、妊婦の保健相談や生活指導、家族を含めた看護について学ぶ。 ・分娩経過に伴う産婦の身体的・心理的・社会的変化を学び、産婦・胎児・家族のアセスメントおよび援助の実践を学ぶ。										
(到達目標)・妊婦・胎児の健康状態をウェルネスの視点で捉え、アセスメントのポイントが理解出来る。 ・妊娠期の保健指導の必要性が理解出来る。 ・分娩期の経過に沿った看護が理解出来る。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
提出物の期限は厳守する事。 演習は必ず参加する事。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	妊娠期における看護 1)妊娠期の身体的特徴①						講義	少貳 夕起子		
2	1)妊娠期の身体的特徴②						講義	少貳 夕起子		
3	2)妊娠期の心理・社会的特徴						講義	少貳 夕起子		
4	3)妊婦と家族の看護						講義	少貳 夕起子		
5	分娩期における看護 1)分娩期の要素 2)分娩の経過						講義	少貳 夕起子		
6	3)産婦と家族の看護						講義	少貳 夕起子		
7	4)産婦・胎児・家族のアセスメント						講義	少貳 夕起子		
8	看護展開 妊婦と胎児のアセスメント						講義	少貳 夕起子		
9	教育支援 指導案・パンフレット作成						GW	非常勤講師		
10	妊産婦の援助に必要な技術①						演習	非常勤講師		
11	妊産婦の援助に必要な技術②						演習	非常勤講師		
12	妊婦に必要な教育支援(ロールプレイ)①						演習	非常勤講師		
13	妊婦に必要な教育支援(ロールプレイ)②						演習	非常勤講師		
14	不妊治療と看護						講義	非常勤講師		
15	試験・解説						講義	専任教員		
■期末試験(70)% ■提出物(20)% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% ■発表(10)% □その他()()%										
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者				出版社			
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論							医学書院			
写真でわかる母性看護学技術							インターメディカ			
参考書										
書名			著者				出版社			
母性看護学Ⅱマタニティサイクル母と子そして家族へのよりよい看護実践							南江堂			
病気がみえるvol.10産科							メディックメディア			
母性看護学Ⅱ 周産期各論							医歯薬出版株式会社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										
3年次の各領域実習につながる内容です。そこを意識して講義・演習に参加してください。 「妊婦に必要な教育支援」で作成するパンフレットは、外来実習の際に活用しますので、丁寧に作成してください。										

授業科目名	母性看護学方法論Ⅱ									
担 当 者	少貳 夕起子/ 専任教員/ 非常勤講師/ 遠藤 由美子									
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1	
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標										
(概 要)・褥婦の身体的変化、褥婦および家族の心理・社会的変化を学び、母子の健康や家族の発達を促す看護について学ぶ。 ・新生児期の特徴を学び、新生児が心身ともに健康に成長・発達することを助けるための看護について学ぶ。 ・事例を用いて産褥期にある母子の看護展開方法を学習し、対象者の健康促進に向けた教育支援の必要性や方法について考える。 (到 達 目 標)・対象をウェルネスの視点で捉え、褥婦を支える看護が理解出来る。 ・新生児が健やかに成長・発達するための看護について理解出来る。 ・事例褥婦への看護展開を通し、継続支援の必要性や重要性について理解出来る。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
提出物の期限は厳守する事。 演習は必ず参加する事。										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講 義 内 容						方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	産褥期における看護 産褥経過と褥婦のアセスメント						講義	非常勤講師		
2	母乳分泌の仕組みと経過 乳房・乳頭の観察 授乳技術について						講義	非常勤講師		
3	褥婦の援助に必要な技術 (子宮復古の観察、直接授乳介助) 事例紹介						講義・演習	非常勤講師		
4	褥婦と家族の看護 心理的・社会的変化						講義	非常勤講師		
5	新生児期における看護 1)新生児の生理学的変化						講義	遠藤 由美子		
6	新生児期における看護 2)新生児のアセスメント(出生直後から生後24時間)						講義	遠藤 由美子		
7	新生児期における看護 2)新生児のアセスメント(生後24時間以降)						講義	遠藤 由美子		
8	新生児の援助に必要な援助技術(沐浴)						演習	少貳 夕起子		
9	新生児の援助に必要な援助技術(沐浴)						演習	少貳 夕起子		
10	褥婦・新生児の看護展開・アセスメント・看護計画立案						講義	少貳 夕起子		
11	褥婦への教育支援 教育支援計画書作成・パンフレット作成						GW	少貳 夕起子		
12	教育支援パンフレット作成						GW	少貳 夕起子		
13	教育支援発表(ロールプレイ)						演習	少貳 夕起子		
14	教育支援発表(ロールプレイ)						演習	少貳 夕起子		
15	試験・解説						講義	専任教員		
■期末試験 (70) % ■提出物 (20) % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試問 () % ■発 表 (10) % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教 科 書										
書 名		著 者				出 版 社				
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論						医学書院				
写真でわかる母性看護学技術						インターメディカ				
参 考 書										
書 名		著 者				出 版 社				
母性看護学Ⅱ マタニティサイクル母と子そして家族へのよりよい看護						南江堂				
病気がみえるvol.10産科						メディックメディア				
母性看護学Ⅱ 周産期各論						医歯薬出版株式会社				
教員からのメッセージ (予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										
3年次の各領域実習につながる内容です。そこを意識して講義・演習に参加してください。 「教育支援」で作成するパンフレットは、実習の際に活用しますので、丁寧に作成してください。										

精神看護学

授業科目名	精神看護学対象論								
担 当 者	大城 拓三/ 非常勤講師								
開 講 年 次	2年	開 講 期	2年前期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)精神保健における主要概念を学び、精神疾患を持つ対象を理解するための基本的視点を持つことができる。 精神の危機を理解し、自らの心の健康を保持増進するコミュニケーションの基本を身につけることができる。 精神看護における倫理的課題や精神疾患を持つ当事者の思いを通し、対象を理解する幅広い視点を持つことができる。 (到 達 目 標)①精神疾患を持つ対象を理解するための基本的視点を持つことができる。 ②自らの心の健康を保持増進するコミュニケーションの基本を身につけることができる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
※授業の評価方法は、出席・小テスト・レポート・発表などから総合的に行うため、計画的に授業に参加してください。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	精神看護で用いられる主要概念の理解①『スティグマ』とはなにか					講義	大城 拓三		
2	精神看護で用いられる主要概念の理解②『リカバリー』とはなにか					講義	大城 拓三		
3	精神看護で用いられる主要概念の理解③『ストレングス』とはなにか					講義	大城 拓三		
4	看護師自身の精神保健を促進するコミュニケーション①『アサーション』					講義	大城 拓三		
5	看護師自身の精神保健を促進するコミュニケーション②『アンガーマネジメント』					講義	大城 拓三		
6	精神看護における倫理的課題					講義	大城 拓三		
7	当事者との交流を通じた精神障がい者の理解①					演習	非常勤講師		
8	当事者との交流を通じた精神障がい者の理解②					演習	非常勤講師		
☐ 期末試験（ ）% ☒ 提出物（ 40 ）% ☒ 小テスト（ 60 ）% ☐ 実技試験（ ）% ☐ 口頭試問（ ）% ☐ 発 表（ ）% ☐ その他（ ）（ ）% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門分野 精神看護学【1】 精神看護の基礎 第6版		武井麻子			医学書院				
系統看護学講座 専門分野 精神看護学【2】 精神看護の展開 第6版		武井麻子			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	精神看護学援助論Ⅰ								
担当者	大城 幸仁/ 大城 拓三/ 中西 康二								
開講年次	2年	開講期	2年前期, 2年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	1
授業の概要・到達目標 (概要)精神に障がいを持つ患者との関わり方やその看護の方法を学び、精神に障がいを持つ患者へ関心に向け、精神科における臨床判断に基づいた看護を展開するための基礎的能力を身に付ける。 看護を実践する上で対象の尊厳を守り、倫理的判断に基づく看護を提供する基礎的能力を身につける。 (到達目標)①精神科看護を展開するための基礎的能力を身に付ける。 ②対象の尊厳を守り、倫理的判断に基づく看護を提供する基礎的能力を身につける。									
履修における注意事項(受講ルールなど) ※授業の評価方法は、出席・期末試験・レポート・発表などから総合的に行うため、計画的に授業に参加してください。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・演習・実習)	担当者		
1	精神科治療環境の理解					講義	大城 拓三		
2	精神障がい者の理解と人間関係を促進するコミュニケーション					講義	大城 拓三		
3	各種治療時の看護【薬物療法】					講義	大城 拓三		
4	各種治療時の看護【作業療法】【レクリエーション療法】					講義	大城 拓三		
5	精神障がい者の日常生活援助					講義	大城 拓三		
6	プロセスレコードによる自己理解、他者理解					講義			
7	疾患別・症状別看護① ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
8	疾患別・症状別看護② ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
9	疾患別・症状別看護③ ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
10	疾患別・症状別看護④ ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
11	疾患別・症状別看護⑤ ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
12	疾患別・症状別看護⑥ ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
13	疾患別・症状別看護⑦ ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
14	疾患別・症状別看護⑧ ①統合失調症(急性期・慢性期) ②気分障害 ③不安障害 ④パーソナリティ障害 ⑤依存症 ⑥認知症					演習	大城 幸仁		
15	試験・解説						大城 拓三		
■期末試験 (70) % ■提出物 (20) % □小テスト () % □実技試験 () % □口頭試験 () % ■発表 (10) % □その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者		出 版 社					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学 [1] 精神看護の基礎 第6版		武井麻子		医学書院					
系統看護学講座 専門分野 精神看護学 [2] 精神看護の展開 第6版		武井麻子		医学書院					
参 考 書									
書 名		著 者		出 版 社					
教員からのメッセージ (学習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

シラバス 2025

3 学年

授業科目

專門基礎分野

授業科目名	社会福祉								
担 当 者	上地 武昭								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 社会福祉と医療、社会保障の関連について概説する。									
(到 達 目 標) 社会福祉と医療、社会保障の関連について理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	社会保障制度と社会福祉の歴史 1. 社会福祉とは何か					講義	上地 武昭		
2	社会保障制度と社会福祉の歴史 2. 社会福祉の基本的性格・生活問題の展開					講義	上地 武昭		
3	社会保障制度と社会福祉の歴史 3. ひとり親家庭の福祉					講義	上地 武昭		
4	社会保障制度と社会福祉の歴史 1. 社会福祉とは何か 2. 社会福祉の基本的性格・生活問題の展開 3. ひとり親家庭の福祉					講義	上地 武昭		
5	現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向					講義	上地 武昭		
6	医療保障と所得保障					講義	上地 武昭		
7	老人福祉法・老年保健法					講義	上地 武昭		
8	介護保険法					講義	上地 武昭		
9	公的扶助					講義	上地 武昭		
10	社会福祉の分野とサービス 1. 障害者福祉・障害者自立支援法					講義	上地 武昭		
11	社会福祉の分野とサービス 2. DV防止法・援助技術					講義	上地 武昭		
12	社会福祉の分野とサービス 3. 児童福祉法					講義	上地 武昭		
13	社会福祉実践と医療・看護					講義	上地 武昭		
14	社会福祉の歴史					講義	上地 武昭		
15	試験・解説					講義	上地 武昭		
■期末試験（100）％ □提出物（ ）％ □小テスト（ ）％ □実技試験（ ）％ □口頭試問（ ）％ □発 表（ ）％ □その他（ ）（ ）％ ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座専門基礎分野 健康支援と社会保障制度【3】社会福祉						医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	関係法規								
担当者	翁長 多代子								
開講年次	3年	開講期	3年後期	授業回数	7	時間数	14	単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)看護職に必要な法令について学ぶ。									
(到達目標)法令、厚生行政の仕組みの理解のもとに医事法規概要、関連法規を理解する。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	健康支援と法律					講義	翁長 多代子		
2	医療の提供に関連する法律					講義	翁長 多代子		
3	"					講義	翁長 多代子		
4	疾病予防・健康増進に関連する法律					講義	翁長 多代子		
5	"					講義	翁長 多代子		
6	医薬品・食品に関連する法律					講義	翁長 多代子		
7	労働に関連する法律					講義	翁長 多代子		
8	試験・解説					講義	翁長 多代子		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名			著者			出版社			
新体系 健康支援と社会保障制度4 看護関連法令			森山 幹夫			医学書院			
参考書									
書名			著者			出版社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

専門分野

基礎看護学

授業科目名	看護研究								
担 当 者	伊藤 義則								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期, 3年後期	授 業 回 数	10	時 間 数	20	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)看護研究の目的、過程を理解し、看護理論を活用しケーススタディーを進めることができる。									
(到 達 目 標)1. 看護研究の意義を理解する。 2. 文献検索方法を理解し、活用することができる。 3. 論文、レポートの書法を理解する。「定められた書式、正しい日本語表記」 4. 看護理論を活用するメリットを理解し、看護理論を活用したカンファレンス、リフレクションを実践できる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
提出期限を遵守する。 ケースレポートの提出と看護ゼミナールにおける発表は、評価を受けるための必須条件となる。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	研究を行う看護者の基本姿勢 1)看護研究の目的・種類 2)看護実践と研究との関係						伊藤 義則		
2	ケース・スタディーの意義と実際 1)ケーススタディーとは何か 2)ケーススタディーのメリットとデメリット					講義	伊藤 義則		
3	ケース・スタディーの意義と実際 3)倫理的配慮 4)文献検索					講義	伊藤 義則		
4	看護研究とは何か 調べること・研究の楽しさを知ろう					講義・演習	伊藤 義則		
5	看護研究の始め方 リサーチクエスションをたてる					講義・演習	伊藤 義則		
6	研究デザイン 研究の設計と方法の選択					講義・演習	伊藤 義則		
7	データの収集、データの分析					講義	伊藤 義則		
8	研究を伝える 学会発表・論文作成など					講義	伊藤 義則		
9	ケースレポートの書き方					講義	伊藤 義則		
10	効果的な発表 看護ゼミナールについて					講義	伊藤 義則		
☐ 期末試験 () % ☒ 提出物 (100) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
系統看護学講座 別巻 看護研究			坂下 玲子			医学書院			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
看護のためのわかりやすいケーススタディーの進め方			松本 孚/森田 夏実			照林社			
やさしい看護理論・現場で活かせるベースの考え方 -			城ヶ端 初子			MCメディカ出版			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

地域・在宅看護論

授業科目名	地域・在宅看護援助論・方法論								
担 当 者	栗國 美由紀/ 吉田 知美/ 宮里 寿美/ 内間 幸人/ 當山 有香								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)(概要)訪問看護の面接技術及びアセスメントの方法について学ぶ。また介護保険制度の実際について学ぶ。									
(到 達 目 標)(到達目標) 1.訪問看護の面接技術及びアセスメントの方法について学ぶことができる。 2.居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの実際が理解することができる。 3.訪問看護師の活動の実際を理解することができる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
・課題学習は指定された内容や指定用紙、提出期日を守って提出する。 ・全員が理解できるように、学習内容で難しい言葉などは、自己学習や質問を行い、全員が理解できるように進める。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	訪問看護受けるための制度					講義	吉田 知美		
2	居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの実際①					講義	當山 有香		
3	訪問看護技術とアセスメント ・在宅酸素療養者への援助① 訪問看護技術とアセスメント					演習	栗國 美由紀/ 吉田 知美/ 宮里 寿美		
4	訪問看護技術とアセスメント ・在宅酸素療養者への援助②					演習	栗國 美由紀/ 吉田 知美		
5	居宅介護支援事業所におけるケアマネジメントの実際②					講義	當山 有香		
6	訪問看護技術とアセスメント ・ALS療養者と家族への援助①					演習	栗國 美由紀/ 宮里 寿美/ 内間 幸人/ 當山 有香		
7	訪問看護技術とアセスメント ・ALS療養者と家族への援助②					演習	栗國 美由紀/ 吉田 知美/ 内間 幸人		
8	試験および振り返り					試験	吉田 知美		
☒ 期末試験（ 50 ） % ☒ 提出物（ 50 ） % ☐ 小テスト（ ） % ☐ 実技試験（ ） % ☐ 口頭試験（ ） % ☐ 発 表（ ） % ☐ その他（ ）（ ） %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名			著 者			出 版 社			
『地域・在宅看護の実際 地域・在宅看護論2』			河原 加代子 他			医学書院			
基礎からわかる地域・在宅看護論			池西 静江 編集			照林社			
参 考 書									
書 名			著 者			出 版 社			
写真でわかる「訪問看護アドバンス」			押川 真紀子 監修			インターメディカ			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									
体調管理に留意し、授業に参加してください。 ・理解が困難な内容や言葉などは、自己学習やクラスメンバー、担当教員へ質問し全員が学習目標を到達できるよう									

老年看護学

授業科目名	老年看護学方法論								
担 当 者	吉岡 美和/ 上原 八穂/ 渡慶次 司								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年後期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 高齢者を生活機能の観点からアセスメントし、看護を展開する方法を学ぶ。また、高齢者を支える多職種との連携及び医療チームにおける看護の役割について学ぶ。									
(到 達 目 標) 1. 地域で暮らす高齢者を観察し、対象におきている加齢に伴う生理的变化に気づくことができる。 2. 1)対象の生理的加齢変化を整理することができる。 2)対象におきている加齢変化が日常生活に与える影響を考えている。 3. 2の記述を参考に、対象のよりよい生活のためのビジョンゴールを設定することができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
原則として演習は出席すること。やむを得ず欠席する際は、事前に担当教員に相談すること。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	地域で暮らす高齢者の看護展開①					講義	上原 八穂		
2	地域で暮らす高齢者の看護展開②					講義	上原 八穂		
3	地域で暮らす高齢者の看護展開③					講義	上原 八穂		
4	多職種の理解1)介護福祉士					講義	渡慶次 司		
5	多職種の理解2)作業療法士					講義	吉岡 美和		
6	地域で暮らす高齢者の看護展開発表④					講義	上原 八穂		
7	尿路感染症高齢者の看護展開(シミュレーション①)					演習	上原 八穂		
8	尿路感染症高齢者の看護展開(シミュレーション②)					演習	上原 八穂		
☐ 期末試験 () % ■提出物 (60) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ■発 表 (40) % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
看護学テキスト 老年看護学概論 改訂第3版		正木治恵 真田弘美			南江堂				
看護学テキスト 老年看護学技術 改訂第3版		真田弘美 正木治恵			南江堂				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
高齢者ケアアドバンス		古田愛子			インターメディカ				
高齢社会白書					内閣府				
老いの臨床心理		黒川由紀子			日本評論社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									

母性看護学

授業科目名 母性看護学援助論									
担 当 者 永島 由喜/ 金城 淑乃/ 専任教員/ 前泊 典子/ 知念 行子/ 非常勤講師									
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期	授 業 回 数	8	時 間 数	16	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要)・正常を逸脱した妊産婦、新生児の身体的特性を学ぶ。 ・正常を逸脱した妊産婦の心理・社会的特性を学ぶ。 ・正常を逸脱した妊産婦、新生児の看護を学ぶ。									
(到 達 目 標)・正常を逸脱した妊産婦、新生児の身体的特性を理解する事が出来る。 ・正常を逸脱した妊産婦の心理・社会的特性を理解する事が出来る。 ・正常を逸脱した妊産婦、新生児の看護を理解する事が出来る。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
国家試験によく出る疾患とその看護についての内容が含まれています。予習して講義に臨むと、より理解出来ると思います。 講義回数が少ないので、休まずに出席しましょう。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	妊娠期のリスク					講義	知念 行子		
2	妊婦のリスクと看護					講義	前泊 典子		
3	分娩期のリスク					講義	金城 淑乃		
4	産婦のリスクと看護					講義	前泊 典子		
5	産褥期のリスク					講義	永島 由喜		
6	新生児期のリスク					講義	永島 由喜		
7	褥婦・新生児のリスクと看護					講義	前泊 典子		
8	試験・解説					講義	専任教員		
☒ 期末試験 (100) % ☐ 提出物 () % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論					医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
母性看護学Ⅱ マタニティサイクル母と子そして家族へのよりよい看護実践					南江堂				
病気がみえる⑩ 産科					メディックメディア				
母性看護学Ⅱ 周産期各論					医歯薬出版株式会社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
国家試験によく出る疾患とその看護についての内容が含まれています。予習して講義に臨むと、より理解出来ると思います。講義回数が少ないので、休まずに出席しましょう。 講義回数が少ないので、休まずに出席しましょう。									

精神看護学

授業科目名	精神看護学援助論Ⅱ								
担 当 者	屋嘉比 浩子/ 兼浜 克弥/ 城間 直也/ 前原 直輝/ 大城 拓三/ 非常勤講師								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期, 3年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標									
(概 要) 既習の知識を基盤に、精神障がいを持つ対象へ看護を実践する基礎的能力を身につける。 精神保健医療福祉システムにおける連携の実際を学び、多様な場で生活する対象へ精神看護を提供するための視点を持つことができる。									
(到 達 目 標) ①精神障がいを持つ対象へ看護を実践する基礎的能力を身につける。 ②多様な場で生活する対象へ精神看護を提供するための視点を持つことができる。									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
※授業の評価方法は、出席・期末試験・レポート・発表などから総合的に行うため、計画的に授業に参加してください。									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方 法 (講義・実技・演習)	担 当 者		
1	シナリオロールプレイ(統合失調症患者の看護①)					演習	大城 拓三		
2	シナリオロールプレイ(統合失調症患者の看護②)					演習	大城 拓三		
3	入院施設における精神障がい者への支援① 『援助を通じた信頼関係の構築』					演習	大城 拓三		
4	入院施設における精神障がい者への支援② 『対象のニーズを尊重した援助』					演習	大城 拓三		
5	入院施設における精神障がい者への支援③ 『セーフティマネジメント』					演習	大城 拓三		
6	入院施設における精神障がい者への支援④ 『ストレングスに着目した援助』					演習	大城 拓三		
7	精神看護専門看護師の役割					講義	非常勤講師		
8	災害時の精神保健活動					講義	非常勤講師		
9	精神保健医療福祉における多職種連携の実際と関わり方 『グループホーム』					講義	非常勤講師		
10	精神保健医療福祉における多職種連携の実際と関わり方 『精神科訪問看護ステーション』					講義	非常勤講師		
11	精神保健医療福祉における多職種連携の実際と関わり方 『地域生活支援センター』					講義	非常勤講師		
12	精神保健医療福祉における多職種連携の実際と関わり方 『就労支援事業所』					講義	非常勤講師		
13	精神障がいをもつ人の地域における生活への支援①					講義	城間 直也		
14	精神障がいをもつ人の地域における生活への支援②					演習	城間 直也		
15	試験・解説					講義	専任教員		
☒ 期末試験 (70) % ☒ 提出物 (20) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☒ 発 表 (10) % ☐ その他 () () %									
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

看護の統合と実践

授業科目名	看護管理								
担 当 者	翁長 多代子/ 加治木 選江/ 西平 淳子/ 非常勤講師								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期, 3年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到達 目 標									
(概 要)看護マネジメント能力を育成するため、看護における管理の基本、患者満足度を考える環境づくり、組織運営、管理業務などを学ぶ。 対象の状況に応じた質の高い医療や看護ケアを提供するために、安全システムの構築に参画できる基礎的知識・技術について学ぶ									
(到達 目 標)看護における管理の基本、組織運営、管理業務について理解し、看護師としての役割について考えることができる。看護における医療安全の基礎的知識・技術が修得できる									
履修における注意事項（受講ルールなど）									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・実技・演習)	担当者		
1	看護とマネジメント 「看護ケアのマネジメント」					講義	翁長 多代子		
2	看護職のキャリアマネジメント					講義	翁長 多代子		
3	看護サービスのマネジメント 1)組織としての看護サービスのマネジメント 2)組織としての目的達成のマネジメント 3)看護サービス提供しくみづくり 4)人材のマネジメント					講義	翁長 多代子		
4	看護サービスのマネジメント 5)ケアを提供する環境マネジメント 6)物品のマネジメント 7)財的資源のマネジメント 8)業務量のマネジメント 9)情報のマネジメント					講義	翁長 多代子		
5	看護サービスのマネジメント 10)サービスの評価 リーダーシップとマネジメント チーム医療					講義	翁長 多代子		
6	統合実習に向けて看護管理まとめ					講義	翁長 多代子		
7	医療事故を学ぶことの大切さと事故防止の考え方 ①国の医療安全対策 ②医療事故と看護業務					講義	加治木 選江		
8	医療事故と看護業務に関する事故防止 ①注射業務 ②輸液ポンプ・シリンジポンプ ③輸血					講義	加治木 選江		
9	医療事故と看護業務に関する事故防止 ①与薬 業務を超えて共通する間違いと発生要因 ①患者間違い					講義・GW	加治木 選江		
10	継続中危険な医療行為の観察・管理における事故防止 ①チューブ管理					講義・GW	加治木 選江		
11	療養上の世話の事故防止 ①転倒・転落 ②摂食中の窒息・誤飲 ③入浴中					講義・GW	加治木 選江		
12	地域における在宅療養者の安全					講義・GW	加治木 選江		
13	医療事故とコミュニケーション チームトレーニング チームSTEPPS					講義・GW	加治木 選江		
14	医療事故とコミュニケーション チームトレーニング チームSTEPPS					講義・演習	加治木 選江		
15	試験・解説						翁長 多代子/ 加治木 選江		
☒ 期末試験 (80) % ☒ 提出物 (20) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ☐ その他 () () % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
看護の統合と実践【1】看護管理		上泉 和子			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）									

授業科目名	災害看護・国際看護									
担当者	下地 知恵子/ 高尾 実千代/ 佐々木 秀章/ 三浦 夕香/ 小林 潤/ 照屋 志歩/ 専任教員/ 土屋 一子/ 比嘉 なつみ									
開講年次	3年	開講期	3年後期	授業回数	15	時間数	30	単位数	2	
授業の概要・到達目標										
(概要)災害の概念、災害時の看護者の役割を理解し、災害によって健康を害した人々への基礎援助方法を学ぶ。国際協力のしくみや災害時の国際救援活動について学ぶ。外国における看護システムの実践を学ぶ。										
(到達目標)災害で被った健康リスクを環境や生活の面から予測し、多職種と連携しながらコミュニティで暮らす人々の健康や生活がよりよい状態になるようにケアすることを理解する。異文化の中で看護活動を展開する際に必要な配慮や心構えを理解する。										
履修における注意事項(受講ルールなど)										
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。										
回数	講義内容					方法 (講義・実技・演習)	担当者			
1	災害看護学・国際看護学とは何か 災害看護・国際看護と倫理					講義	三浦 夕香			
2	災害医療の昨今① ・災害とは 災害の分類 災害医療の定義					講義・演習	佐々木 秀章			
3	災害医療の昨今② ・災害医療における重要概念(トリアージ等) DMATと広域搬送					講義・演習	佐々木 秀章			
4	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護① ・急性期、亜急性期 被災病院における初動活動					講義	土屋 一子			
5	災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護② ・慢性期、復興期～静穏期					講義	土屋 一子			
6	被災者及び救援者への援助 ・こころのケア					講義	比嘉 なつみ			
7	国際看護学の定義 国際看護学の対象					講義	高尾 実千代			
8	健康を取り巻く世界の情勢と国際看護の基礎知識① ・健康に影響する世界の課題					講義	小林 潤			
9	健康を取り巻く世界の情勢と国際看護の基礎知識② ・グローバルヘルス ヘルスプロモーション					講義	小林 潤			
10	健康を取り巻く世界の情勢と国際看護の基礎知識③ ・持続可能な開発目標(SDGs)					講義	小林 潤			
11	国際協力のしくみ(JICA)					講義	照屋 志歩			
12	米国における看護システム①(在沖米軍海軍病院看護師)					講義	三浦 夕香			
13	米国における看護システム②(在沖米軍海軍病院見学)					講義	三浦 夕香			
14	米国における看護システム③(在沖米軍海軍病院見学)					講義	三浦 夕香			
15	試験・解説					試験	三浦 夕香/ 非常勤講師			
■期末試験(80)% □提出物()% □小テスト()% □実技試験()% □口頭試問()% □発表()% □その他()()% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。										
教科書										
書名			著者			出版社				
看護の統合と実践【3】 災害看護・国際看護			竹下 喜久子			医学書院				
参考書										
書名			著者			出版社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)										

授業科目名	臨床看護の実践								
担 当 者	安慶名 真樹/ 三浦 夕香								
開 講 年 次	3年	開 講 期	3年前期, 3年後期	授 業 回 数	15	時 間 数	30	単 位 数	1
授業の概要・到達目標									
(概 要)保健・医療・福祉の統合が進む社会状況において、専門的立場からサービスの提供とともに各職種が連携・協働し総合的支援をすることが求められている。事例や状況にあった多職種連携や協働の在り方を学ぶ。チームの一員として協働することや時間管理の必要性を学び複雑な状況下でも安全・安楽な看護を実践するプロセスを学ぶ。									
(到達目標)コミュニティで暮らす人々や医療施設で療養する対象者の健康や生活がよりよい状態になるよう、多職種と連携する重要性を理解する。 複数患者受け持ちにおいて、安全安楽な看護を実践することができる。									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業スケジュール ※事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講 義 内 容					方法 (講義・演習・実習)	担当者		
1	チーム医療(多職種連携) ・看護における管理の基本、組織運営、管理業務について理解し、看護師としての役割について考えることができる。 ・看護における医療安全の基礎的知識・技術が習得できる。					講義・演習	三浦 夕香		
2	複数患者を受け持つための業務管理 ・複数患者を受け持つための情報収集・情報管理の目的・方法を理解する。 ・1日のスケジュールの立て方と業務時間の管理を理解する。					講義・演習	三浦 夕香		
3	簡単明瞭な情報の伝え方 ・I-SBARCを用いて、的確かつ簡潔に患者の状態を報告することができる。					講義・演習	三浦 夕香		
4	複数患者の援助計画立案① ・複数患者へのケア計画実施の要点がわかる。 ・患者の状況から優先順位を考えることができる。					講義・演習	三浦 夕香		
5	臨床判断の『気づく』にアプローチする。 ・看護の実践に際し、情報を意味づけて患者や状況を解釈して判断する『臨床判断』を構成する基本的な思考を理解する。					講義・演習	三浦 夕香		
6	臨床判断モデルを枠組みとした看護計画の作成 ・臨床判断モデルを用いた看護計画書を作成し、患者の変化に『気づく』ための『コンテキスト・背景・関係性』を明確にする。					講義・演習	三浦 夕香		
7	ケアの優先順位を考慮した1日の計画 ・複数患者のケア計画を実施するため、患者に関する情報を、ケアの優先順位を考慮した『タイムスケジュール』を作成する。					講義・演習	三浦 夕香		
8	演習オリエンテーション ・優先順位を考えた複数患者の観察と報告の仕方がわかる。 ・患者の突発事象を踏まえた優先順位の判断と報告の仕方がわかる。					講義・演習	三浦 夕香		
9	複数事例への情報収集の仕方 ・実習に向けたワークシート作成					演習	三浦 夕香		
10	演習 ・優先順位を考えた複数患者の観察と報告の仕方がわかる。①					演習	三浦 夕香		
11	演習 ・優先順位を考えた複数患者の観察と報告の仕方がわかる。②					演習	三浦 夕香		
12	演習 ・突発事象に対応する看護実践①					演習	三浦 夕香		
13	演習 ・突発事象に対応する看護実践②					講義・演習	三浦 夕香		
14	多職種連携カンファレンス①					講義・演習	安慶名 真樹		
15	多職種連携カンファレンス②					講義・演習	安慶名 真樹		
☐ 期末試験 () % ■提出物 (75) % ☐ 小テスト () % ☐ 実技試験 () % ☐ 口頭試問 () % ☐ 発 表 () % ■その他 (出席状況・GW参加状況) (25) % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教 科 書									
書 名		著 者			出 版 社				
系統看護学講座 看護の統合と実践1 看護管理		上泉和子 編			医学書院				
系統看護学講座 看護の統合と実践2 医療安全		川村治子 著			医学書院				
参 考 書									
書 名		著 者			出 版 社				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									